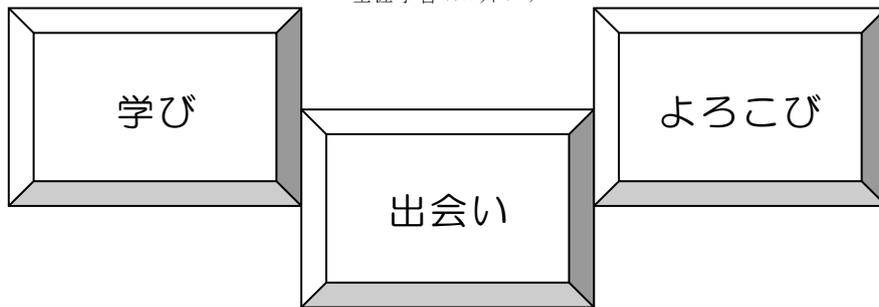


平成27年度

事業報告書



「マナビイ」
生涯学習マスコットマーク



石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

は じ め に

桜花爛漫の季節が過ぎ、早や風薫る五月の葉桜が匂い立つ季節となりました。平成27年度事業報告書をお届けいたします。皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年3月に発表された「第2期石川の教育振興基本計画」は本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的施策の「大綱」であります。その中で「生涯にわたり学び続ける環境づくりの推進」が基本目標7として謳われ、具体的な取組として、第一に「多様な学習ニーズに応える講座の充実」が掲げられております。「石川県民大学校」では、159の実施機関において1,186講座を開講し、修了生は同大学校・大学院を合わせて656名となりました。これもひとえに、講座実施機関はじめ関係各位のご理解ご支援の賜と心より感謝申し上げますとともに、さらなる講座内容の充実に取り組んでまいります。

また、「あいあいネット」、「いしかわマナビィめーる」等を通じて広く県民に生涯学習情報の提供に努めてまいります。

第二の具体的な取組として「全世代を通じた学びの機会の充実」を掲げ、二年目を迎えます「ファミリー・カレッジ in 本多の森」において、5月3日開催のあすかりん氏による「フードアナリスト的“おいしい”の秘密」と題する講演会を皮切りに、スポーツ・文化等で活躍する方々による交流イベント型講演会さらに著名人による講演会などで、すべての世代のご家族でそろって学び楽しめるプログラムを展開してまいります。

また基本目標1において「いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成」を標榜し、具体的な取組として「地域と連携したふるさと体験学習の推進」を掲げ、四年目を迎えます「ふるさとモット学び塾」において幅広い年齢層の方々が本県の文化や歴史、自然等に知識理解を深めることができるよう、工夫、改善しながら、魅力ある「ふるさとふれあい講座」「ふるさとふれあい現地講座」「ふるさと発見出前講座」さらに能登校（のと里山空港）で実施されます「ふるさとふれあい能登校講座」に取り組んでまいります。

加えて「まなびすとルーム」では、マナビィコーナーにおける県民の皆様の作品展示など生涯学習の成果発表、DVD・16ミリフィルムの貸出、さらに生涯学習に関するご相談や情報提供を行い県民の利便性に応じてまいります。

この報告書は、平成27年度における当センターの事業実施状況をまとめたものです。ご高覧いただければ幸いに存じます。

結びに、当センターの事業の実施にあたり、ご尽力いただきました関係各機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成28年5月

石川県立生涯学習センター
館長 近藤 繁彦

目 次

I 生涯学習センター	
1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ	3
(2) 石川県民大学校の入校状況	4
(3) 石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会	5
(4) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	6
(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	8
(6) 石川県民大学校の推移	9
2 講座事業	
(1) ふるさとふれあい講座	11
(2) ふるさと発見出前講座	13
(3) あすなる悠々塾	15
(4) あすなる悠々塾講師養成研修	17
(5) 人権講演会	18
(6) ゴールデンウィークスペシャル講演会	19
(7) ファミリー・カレッジin本多の森	20
(8) 兼六ビデオ講座	22
(9) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～	24
(10) 本多の森映画会	25
(11) 夏休み子ども映画会	26
(12) 本多の森キッズシアター	27
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	28
(2) まなびすとルーム	29
(3) 視聴覚ライブラリー	29
(4) 16ミリ映画教材提供	30
(5) 生涯学習センターだより(館報)	31
(6) 県企画展示マナビィコーナー	32
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	33
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	34
(3) ファシリテーター養成講座	35
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	36
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	37
5 マナビィフェアin本多の森	38
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習振興県民フォーラム	39
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	40
(3) 社会教育主事等フォローアップ研修	41
(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会	43
(5) 視聴覚セミナー	44
(6) 県民映像カレッジ	44
(7) ICT活用講座	45
(8) いしかわビデオ作品コンクール	46
(9) 視聴覚いしかわ(会報)	47
(10) 自主サークル	47
II 生涯学習センター能登分室	
1 講座事業	
(1) いしかわを知る講座	48
(2) 能登文化講座	48
(3) 古文書手習い塾	49
(4) 古文書解読講座	49
(5) 能登陶芸教室	50
(6) あすなる悠々塾in能登	50
(7) 能登特別映画会	51
(8) ふるさと文化探求講座	51
(9) 夏休み子ども特別映画会	52
(10) 夏休み子ども陶芸教室	52
(11) 夏休み子ども科学教室	53
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) 大人の料理教室	54
(2) 男の料理教室	54
(3) サンドブラスト体験教室	55
3 能登分室利用状況	56
III 調査研究レポート	
「社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査」について	57

I 生涯学習センター

1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ

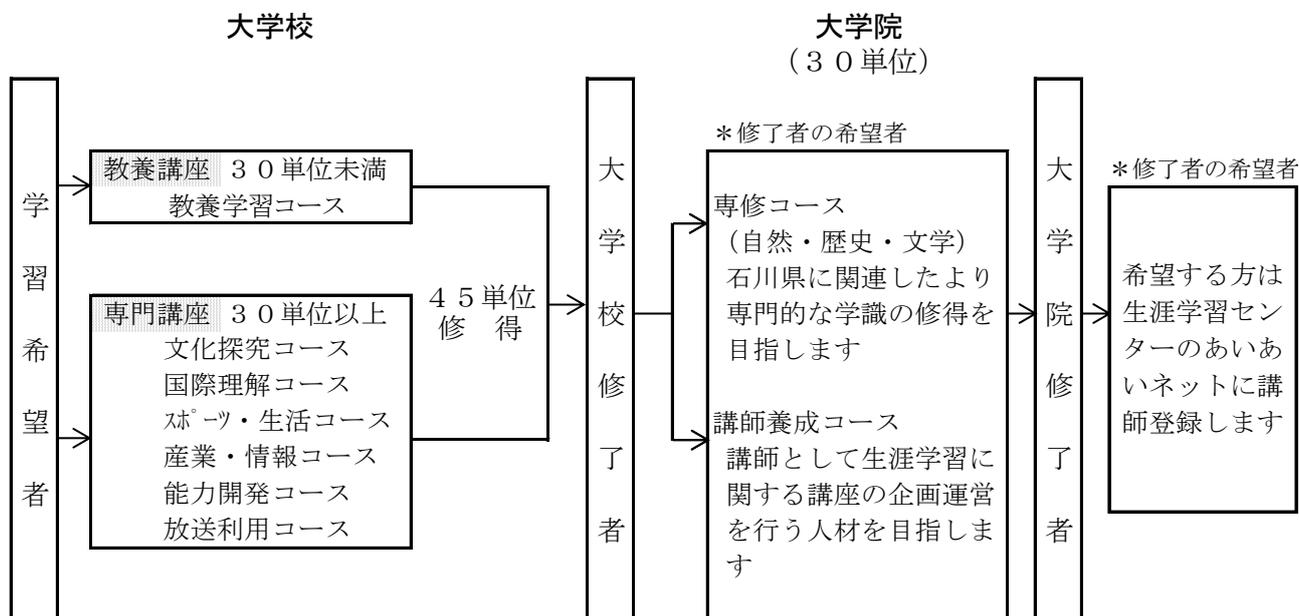
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

・講座数の推移

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 6年	321 (103)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 7年	331 (111)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 8年	325 (107)		
平成 9年	332 (117)		
平成10年	330 (126)		
平成11年	485 (121・4)		
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



○石川県民大学校入学から修了までのしくみ



(2)石川県民大学校の入校状況(平成27年度)

表1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
養教	教養学習	1,154	8,774
専門講座	文化探究	7	239
	国際理解	12	146
	スポーツ・生活	4	0
	産業・情報	0	0
	能力開発	2	146
	放送利用	3	14
	計	28	545
大学院	専修自然・歴史・文学	3	44
	講師養成	1	4
合計		1,186	9,367

表2 地区別入校者割合(%)

地区名	入校者割合
加賀市	0.7
小松市・能美市・能美郡	3.4
白山市・野々市市	11.2
金沢市	57.7
かほく市・河北郡	3.3
羽咋市・羽咋郡	2.4
七尾市・鹿島郡	2.7
輪島市・鳳珠郡	10.5
珠洲市	2.4
不明・県外	5.7
合計	100

表3 年齢・男女別入校者割合

年齢	男(%)	女(%)	合計(%)
19歳以下	7.3	6.5	13.8
20歳～29歳	0.4	0.8	1.2
30歳～39歳	1.2	3.2	4.4
40歳～49歳	2.1	6.4	8.5
50歳～59歳	1.6	5.0	6.6
60歳～69歳	9.0	12.9	21.9
70歳～79歳	9.9	10.1	20.0
80歳以上	3.4	1.8	5.2
不明	5.8	12.6	18.4
合計	40.7	59.3	100

(3)石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会

趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

対象・参加者

平成26年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 221名

会 場

本多の森庁舎第2会議室

期 日

平成27年5月23日(土) 13:30～15:30

日 程

13:30～14:00	修了証書交付式 平成26年度修了生560名のうち104名（大学校86名、大学院18名）の方に、副学長の木下公司教育長から修了証書が交付された。
14:10～15:30	記念講演 「鏡花文学の魅力」と題して、金沢学院大学学長 秋山稔氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

石川の文化・歴史・自然等を学んだ方々に、学んだ成果として修了証書を交付することにより、学びの気運に満ちた生涯学習社会づくりへの気運を醸成することができた。

記念講演では、泉鏡花研究の第一人者である金沢学院大学学長の秋山稔氏が、泉鏡花文学について、「外科室」のように鏡花の作品の中には元となる話があり、それを鏡花独特の表現で書いているなど、具体的事例を提示しながら分かりやすく解説した。受講者からは、先生の話聞いて、泉鏡花の作品を読み直したいなどの感想が寄せられた。

(4)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

平成27年5月23日(土)～平成28年1月23日(土)

会 場

本多の森庁舎会議室

定 員

講師養成コース 15名
専修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月23日(土) 13:30～15:30	記念講演「鏡花文学の魅力について」(石川県民大学校・大学院修了証書交付式)	金沢学院大学学長 秋山 稔	221人
2	6月2日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「女性作家が見た金沢～昭和30年代の作品から～」	金沢学院大学文学部准教授 薮 際子	25人
3	6月3日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「加賀藩改作法と平均免」	金沢学院大学文学部教授 見瀬 和雄	53人
4	6月5日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「鳥類に種子散布を託すしたたかな植物たち～能登半島のオニバス・フユザンショウ等の調査より～」	石川県立大学非常勤講師 高木 政喜	14人
5	6月9日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「泉鏡花『夜叉が池』を読む」	金沢学院大学文学部准教授 朝木 敏子	27人
6	6月12日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「第一次遣渤海使・引田虫麻呂が訪ねた渤海王都について考える」	金沢学院大学文学部特任教授 小嶋 芳孝	35人
7	6月12日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「原風景形成と生物多様性～生きものの価値の再発見～」	石川県立大学名誉教授 上田 哲行	11人
8	6月16日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「芥川龍之介と秋声・鏡花・犀星」	金沢学院大学文学部教授 水洞 幸夫	29人
9	6月17日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「斉広と定信～兼六園命名のこと～」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	55人
10	6月19日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「元素のはなし～自然も暮らしもすべて元素記号で書かれている～」	金沢大学非常勤講師 乗富 政雄	16人
11	6月23日(火) 10:00～12:00	専修コース文学 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館専門員 鷺澤 淑子 他	3人
12	6月23日(火) 13:30～15:30	専修コース歴史 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館専門員 鷺澤 淑子 他	13人
13	6月26日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 水野 昭憲 他	1人
14	6月30日(火) 13:30～15:00	専修コース・講師養成コース 「論文作成講座」	金沢学院大学文学部准教授 朝木 敏子	25人
15	7月8日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	4人

番号	日時	内容(演題)	講師	参加者数
16	7月15日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「広く必要な方にとどけるためのツール活用」	officeアシスタ代表 山川 広美	2人
17	7月22日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「魅力的なチラシの作り方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	2人
18	7月29日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	2人
19	9月18日(金)	専修コース自然・歴史 試論指導	論文指導講師	3人
20	9月28日(月)	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	1人
21	9月29日(火)	専修コース歴史・文学 試論指導	論文指導講師	8人
22	9月30日(水)	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	4人
23	10月 1日(木)	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	1人
24	10月 2日(金)	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	3人
25	10月26日(月)	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	2人
26	10月27日(火)	専修コース歴史・文学 論文指導	論文指導講師	5人
27	10月28日(水)	専修コース文学 論文指導	論文指導講師	4人
28	10月29日(木)	専修コース歴史・文学 論文指導	論文指導講師	6人
29	10月30日(金)	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	2人
30	11月 4日(水)	専修コース自然 論文指導	論文指導講師	1人
31	10月14日(水) 13:30～14:30	講師養成コース 企画書作成指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	2人
32	11月25日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画講座発表会	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	2人
33	1月23日(土) 13:30～15:40	「石川の博士」論文発表会 記念講演「石川方言の歴史と今」	金沢大学 教授 加藤 和夫	89人
合 計				671人

※1～10及び33の講座については、一般の方に開放している講座。

事業の評価(成果・課題)

講師による懇切・丁寧な論文等の指導により、修了生21名の研究成果を「石川の博士論文集」としてまとめることができた。

これまでの修了生及び受講生に対して実施したアンケートでは、「講師養成コース」の受講希望者が極めて少ないことが浮彫となった。今後は、「講師養成コース」の在り方、「専修コースの複数年制」など時代のニーズにあった制度への変更を検討する。

また、一般の方への「開放講座」としている専修コースの基本講座については、より積極的な広報に努め、受講者数の拡大を図りたい。

(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演をとおして県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日 時

平成28年1月23日(土) 13:30~15:40

会 場

本多の森庁舎会議室

対象・参加者

平成27年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 89名

日 程

13:30~14:35	論文発表 ①「キリストの住む加賀百万石～古九谷と金沢城の謎～」 講師養成コース代表 小村 輝男 ②「金石町誕生の秘話」 専修コース歴史代表 北潟 伸吉 ③「桜のコミュニケーション方法についての理論的な考察」 専修コース自然代表 刈本 博保 ④「泉鏡花『眉かくしの霊』を読む～金沢の残像が組み込まれた作品～」 専修コース文学代表 岸端 敏幸
14:40~15:40	記念講演 「石川方言の歴史と今」 金沢大学教授 加藤 和夫

事業の評価(成果・課題)

今年度大学院を修了した4名による発表はよくまとまっており一般受講者からも好評であった。記念講演では、方言の分布が都を中心に同心円状に広がることや年代による使用状況などについて、加藤氏からデータを交えて分かりやすく解説され、好評な意見が多数を占めた。

大学院受講生へのアンケートや論文発表会後の懇談において、「論文作成期間の延長」や「受講生同士の連携」など、様々なご意見をいただいた。今後の大学院運営の参考としたい。

(6) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
大 学 校	教 養 講 座 計	894	903	983	1,019	1,050	1,099	1,154
	文化探求コース	9	9	9	8	7	6	7
	国際理解コース	11	11	12	12	12	12	12
	スポーツ・生活コース	12	9	4	4	4	4	4
	産業・情報コース	1	2	1	1	0	0	0
	能力開発コース	4	3	5	3	4	4	2
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	専 門 講 座 計	40	37	34	31	30	29	28
	大 学 校 計	934	940	1,017	1,050	1,080	1,128	1,182
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		938	944	1,021	1,054	1,084	1,132	1,186

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	3	4	3	5	3	2	2
	講 座 数	56	54	52	39	60	35	43
知事部局等	機 関 数	33	31	31	30	33	30	22
	講 座 数	182	166	185	187	191	206	181
県立学校	機 関 数	57	54	52	52	34	22	12
	講 座 数	57	55	53	52	35	26	13
県 教 委	機 関 数	13	12	12	12	12	12	12
	講 座 数	155	163	178	186	206	212	215
県 機 関 計	機 関 数	103	97	95	94	79	64	46
	講 座 数	394	384	416	425	432	444	409
市町村教委	機 関 数	38	34	37	50	58	65	41
	講 座 数	140	127	154	202	230	274	151
各 種 法 人	機 関 数	45	38	38	41	41	44	53
	講 座 数	219	238	272	260	246	260	476
各 種 団 体	機 関 数	25	24	19	19	20	18	17
	講 座 数	129	141	127	128	116	119	107
合 計	機 関 数	214	197	192	209	201	193	159
	講 座 数	938	944	1,021	1,054	1,084	1,132	1,186

表3 入校者数の推移

(単位：人)

年 度		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合計
大 学 校	○教養講座 計	6,974	7,255	6,970	7,279	6,859	8,700	8,774	98,953
	文化探究コース	310	294	299	347	209	111	239	12,407
	国際理解コース	186	121	167	172	179	133	146	8,749
	スポーツ・生活コース	12	20	0	0	33	9	0	8,132
	産業・情報コース	3	8	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	113	61	123	78	172	202	146	7,297
	放送利用コース	5	0	4	2	1	7	14	1,471
	○専門講座 計	629	504	593	599	594	462	545	42,538
大 学 院	専修コース	80	71	86	77	57	37	44	1,650
	講師養成コース	21	17	15	10	14	6	4	379
	○石川の博士養成講座 計	101	88	101	87	71	43	48	2,029
合 計		7,704	7,847	7,664	7,965	7,524	9,205	9,367	143,520

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表4 修了者数の推移

(平成28年3月末現在)

(単位：人)

年 度		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合計
大 学 校	○教養講座 計	213	204	262	260	197	308	232	3,241
	文化探究コース	197	184	203	190	264	111	187	4,541
	国際理解コース	36	64	42	90	90	71	88	2,041
	スポーツ・生活コース	4	7	1	0	33	9	0	1,781
	産業・情報コース	3	8	7	2	0	0	0	641
	能力開発コース	87	63	20	26	0	35	128	3,759
	放送利用コース	2	1	2	2	1	0	0	45
	○専門講座 計 (コース重複)	328 (1)	326 (1)	275 (0)	310 (0)	388 (0)	226 (0)	403 (1)	12,216 (593)
大 学 院	専修コース	17	26	25	25	30	23	19	501
	講師養成コース	6	5	5	2	5	3	2	161
	○石川の博士養成講座 計	23	31	30	27	35	26	21	662
合 計		564	561	567	597	620	560	656	16,119

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表5 年代別修了生数

(平成27年度修了生の内訳)

(単位：人)

大学校(院)	年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大 学 校	男 性(人)	1	0	2	4	7	77	95	25	34	245
	女 性(人)	6	0	4	18	36	127	91	13	95	390
大 学 院	男 性(人)	0	0	0	0	0	9	7	2	0	18
	女 性(人)	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
合 計	人 数(人)	7	0	6	22	43	214	194	41	129	656
	割 合(%)	1.1	0.0	0.9	3.4	6.6	32.6	29.6	6.3	19.7	100

※構成割合については、四捨五入しているため合計100%にならない。

2 講座事業

(1) ふるさとふれあい講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然等をテーマとした講座を実施する。本多の森庁舎を会場に行う10回の講座（「本多の森会場」）と景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する6回の講座（「現地コース」）を実施する。

① 本多の森会場

対象・定員

一般 130名

会 場

本多の森庁舎 第二会議室

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	7月25日(土) 13:30～15:00	加賀百万石の成り立ち	石川県立歴史博物館館長 京都大学名誉教授 藤井 讓治	200 人
2	8月 2日(日) 13:30～15:00	能の世界 ～加賀宝生に生きる～	宝生流能楽師・篁宝会主宰 藪 俊彦	155 人
3	8月 9日(日) 13:30～15:00	石川の文化 ～茶の湯を中心に～	茶道裏千家今日庵業躰 奈良 宗久	160 人
4	8月22日(土) 13:30～15:00	いつものうるし ～輪島で創られる漆器の可能性～	木と漆の創作工房「輪島キリモト」代表 桐本 泰一	117 人
5	9月 5日(土) 13:30～15:00	石川のお餅文化の発信	株式会社六星代表取締役社長 軽部 英俊	108 人
6	9月18日(金) 13:30～15:00	観光における精神効果 ～心ふれあうガイド～	ほっと石川観光ボランティアガイド 金沢観光ボランティアガイドの会 「まいどさん」会長 喜多 益雄	130 人
7	10月 2日(金) 13:30～15:00	いしかわ食文化物語 ～映画「武士の献立」よもやま話～	青木クッキングスクール理事長 青木 誠治	140 人
8	10月18日(日) 13:30～15:00	源平争乱と加賀路の合戦	金沢学院大学特任教授 東四柳 史明	161 人
9	11月 7日(土) 13:30～15:00	芳春院まつと加賀	歴史研究家 瀬戸 薫	162 人
10	11月20日(金) 13:30～15:00	石川の酒の魅力	石川県酒造組合連合会会長 中村酒造株式会社代表取締役社長 中村 太郎	126 人
合 計				1,459 人

② 現地コース

対象・定員

一般 35名

日程

番号	日時	演題	講師	参加人数
1	7月11日(土) 8:30～17:00	前田利家と結んだ能登の寺社・人を訪ねて	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	36人
2	9月12日(土) 8:30～17:00	金沢の新旧の建築と街並みを巡る	金沢工業大学教授 水野 一郎	37人
3	9月27日(日) 12:30～17:00	庭は生きている ～大名庭園「兼六園」の価値と 現代的意義について～	元金沢城・兼六園管理事務所所長 森永 寿久	39人
4	10月10日(土) 8:30～17:00	能登・七尾のまちづくり ～挑戦する「のとびと」を訪ねて～	株式会社御祓川代表取締役社長 森山 奈美	37人
5	10月22日(木) 12:30～17:00	金沢城と玉泉院丸庭園を歩く ～近世城郭のホットラインを究める～	石川県金沢城調査研究所所長 木越 隆三	37人
6	10月31日(土) 8:30～17:00	「海の道」に挑んだ男たちの足跡 ～加賀橋立重伝建群を訪ねて～	橋立町さわやかガイド代表 宮本 昭夫	37人
合計				223人

事業の評価(成果・課題)

「ふるさとふれあい講座 本多の森会場」については、どの回も100名以上の受講者があり、定員(130名)を超える参加があった回が7回となった。定員に対する受講率は、112.2%(前年度87.5%)となった。受講者総数は、本講座の始まった平成25年度から見ると、895名→1,137名→1,459名と増加を続けている。受講者から高い関心をいただき、「毎年楽しみにしています。次年度も期待しています。」という声も頂戴するようになった。

平成25～26年度は、実施曜日を金6回、土・日4回としてきたが、本年度は、学生や仕事を持つ方が参加しやすいよう配慮し、金3回、土・日7回とした。しかし、土・日と金曜日の50代以下の出席者数に大きな変化はなかった。今後も、50代以下の方への広報の工夫と、土・日開催講座の内容に対する配慮を続けていかなければならない。講座の内容については、アンケートの「満足・やや満足」の合計が90.3%(あまり満足していない1.9%、無回答7.8%)と大変好評で、非常に良い成果を得ることができた。

「ふるさとふれあい講座 現地コース」については、前年度と同じ35名を定員としたが、応募数が非常に多く若干、受け入れ人数を増やして対応した。また、7月実施の講座1回を新設し、7月1回、9月2回、10月3回の計6回：徒歩2回(金沢半日)、バス4回(能登2・加賀1・金沢1)とした。天候のよい時期に計画し、ほとんどの講座が天候に恵まれた。従来の「往復はがき」による申込みに加え、より簡単に申込みいただけるよう「電子メール」でも受付を始めた。

本年度は、受講可能人数210名(35名×6回)を超える317名・811通(前年度543通)の申込みをいただき、高い関心をいただいた。811通の内訳は、はがき586通、メール225通であった。当選確率は前年度の32.2%よりも更に低い25.9%となり、1回も当選できなかった方が多く出てしまう結果となり、「実施回数・定員を増やしてほしい。」という要望も多くいただいている。講座の内容については、アンケートの「興味が持て、参考になる内容だった」の項目について「とても良かった」と「良かった」の割合が97.6%と、現地コースならではの「直接、見て、聞いて、触れる」という、より深い学びの場を提供することができた。

全体として、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

来年度は、小学生と保護者を対象とした現地コースを設け、幅広い年齢層の受講者を呼び込みたい。また、能登分室との連携を強化し、能登在住者が参加しやすい環境づくりをしていきたい。

(2) ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然等をテーマとした出前講座を実施する。

対象・定員

小中学校：児童・生徒 30名以上 ※小学校は4年生以上

公民館：一般 20名以上

日 程

① 小中学校(13校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月8日(月) 11:35～12:20	金沢市立 浅野川小学校(5)	加賀野菜 ～五郎島金時について～	JA金沢五郎島さつまいも部会 副部長 藤村 幸司	68人
2	7月7日(火) 9:00～12:00	羽咋市立 西北台小学校(5)	イカリモンハンミョウの生態	いしかわ自然学校インストラクター 西屋 馨 イカリモンハンミョウを守る会会長 架谷 成美	23人
3	9月14日(月) 11:30～12:15	金沢市立 馬場小学校(6)	加賀百万石の成り立ち	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	23人
4	9月30日(水) 14:00～14:45	川北町立 川北小学校(6)	加賀百万石と前田家	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	46人
5	10月5日(月) 13:40～14:25	津幡町立 井上小学校(4)	昔から受けつがれてきたもの にはどんな願いがこめられて いるの～津幡の行事や祭り～	津幡町観光ボランティアガイド つばたふるさと探偵団 副会長 加茂 修	49人
6	10月26日(月) 9:35～10:20	金沢市立 富樫小学校(6)	加賀百万石の成立	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	94人
7	11月19日(木) 8:40～10:15	津幡町立 井上小学校(6)	石川の生き物たちの化石	石川県立自然史資料館 学校地域支援担当 北村 栄一	48人
8	12月1日(火) 11:35～12:20	金沢市立 三馬小学校(4)	金沢の三文豪について	石川近代文学館学芸員 奥田 知穂	129人
9	12月7日(月) 10:35～12:10	金沢市立 馬場小学校(5)	加賀野菜を使った料理	北陸学院大学短期大学部 食物栄養学科教授 新澤 祥恵	21人
10	1月14日(木) 9:00～10:00	金沢市立 鞍月小学校(4)	石川の伝統工芸について	石川県立伝統産業工芸館 館長代理 柳井 篤子	133人
11	1月21日(木) 10:35～11:20	小松市立 苗代小学校(4)	九谷焼への思い(石川の陶芸)	九谷焼伝統工芸士 浅藏 一華	94人
12	1月28日(木) 10:40～11:25	金沢市立 泉野小学校(4)	九谷焼について	九谷焼伝統工芸士 井出 幸子	113人
13	1月29日(金) 10:35～11:20	金沢市立 四十万小学校(4)	石川の陶芸 九谷焼	九谷焼伝統工芸士 打田 幸男	82人
合 計					923人

② 公民館(12館)

番号	日時	公民館	演題	講師	参加人数
1	6月10日(水) 10:00～12:00	野々市市 野々市公民館	北前船と糖漬・粕漬の歴史と その特色について	株式会社あら与代表取締役 荒木 敏明	37人
2	6月23日(火) 9:30～11:00	白山市 千代野公民館	ふるさとを探る 加賀藩歴史物語 ～江戸中期から幕末まで～	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	26人
3	7月19日(日) 5:00～7:00	珠洲市 上戸公民館	親子早朝上戸知ろう会	上戸知ろう会 櫻井 重行	中止
4	8月9日(日) 9:00～15:00	金沢市 味噌蔵町公民館	子ども体験教室 「自然を体験しよう」	味噌蔵町公民館 青少年部長 岩崎 昌之 視聴覚部長 紋谷 真佐人	42人
5	9月3日(木) 13:30～15:00	金沢市 城南公民館	戦時下における 金沢の松脂、松根油採取	石川郷土史学会 村本 外志雄	85人
6	9月12日(土) 9:30～11:00	金沢市 松寺公民館	金沢金箔について	伝統工芸士 熱野 嘉和	34人
7	10月16日(金) 11:00～14:00	野々市市 押野公民館	石川のお米とお餅文化の発信	株式会社六星代表取締役社長 軽部 英俊	21人
8	11月13日(金) 10:00～11:30	白山市 加賀野公民館	大人の科学実験と 地元の化学工場見学	旧科学技術振興事業団 サイエンスレンジャー 中村 順吉	22人
9	2月13日(土) 13:30～15:00	輪島市 鳳至公民館	江戸時代の輪島⑤	生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	33人
10	2月14日(日) 14:00～15:30	野々市市 郷公民館	石川の食文化 ～加賀野菜と能登野菜～	北形青果株式会社取締役 北形 謙太郎	42人
11	2月20日(土) 19:00～20:30	宝達志水町 公民館	STAR WATCH ～月と冬の星座～	柳田星の観察館「満天星」 学芸員 宇佐美 拓也	23人
12	2月27日(土) 13:30～15:00	輪島市 鳳至公民館	江戸時代の輪島⑥	生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	21人
合 計					386人

事業の評価(成果・課題)

ふるさと石川について各公民館・学校が独自に選んだテーマに応じた専門の講師を派遣することができた。講座時間の上限を見直し、従来60分だった小中学校も公民館と同じ90分とした(本年度は3校が90分の講座を利用)。各地域に密着したテーマが多く取り上げられ、地域の子どもを教える先生、地域の学びのニーズを知る公民館職員の求めに細かく対応することができた。この事業は3年目となり、続けて講師をしていただいた方もあり、対象年齢に合わせたお話ができる講師等を考慮して講師を選定することができるようになり、「学校・公民館」と「地域の先生」とを結びつける役割も担えた。お話だけではなく、「実技や物を見る、触わる、実際にやってみる」ということを通しての学習を提供してくださった講師が多く、仕事への情熱、生き様等、講師の存在そのものに直接ふれることができるよい機会となり、講座の内容も高い評価を受けた(アンケートで「とても良かった」と「良かった」の合計が100%)。「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という目標を達成することができたと考えられる。

応募のあった施設が金沢市とその周辺に集中しているので、加賀から能登に広く開催施設を広げる広報の工夫が必要である。学校については、各市町教委を通して募集しているが、今後は、より効果的な通知や広報の方法を模索していきたい。

(3)あすなろ悠々塾

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に活かされることを目指す。

参加対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月22日(金) 10:00～12:00	心理学講座 「楽しく学ぶ、わかりやすい心理学」①	山本 紀子	22人
2	5月23日(土) 13:00～14:30	健康講座 「骨盤のゆがみと健康について」	藤井 隆伸	9人
3	5月26日(火) 13:30～15:30	歴史講座 「高山右近の真実」①	堀川 惇夫	48人
4	5月27日(水) 13:30～15:30	歴史講座 「高山右近の真実」②		34人
5	5月29日(金) 13:30～15:00	健康講座 認知症予防①～こんな方が危ない!～	竹下 知子	32人
6	6月 2日(火) 13:30～15:00	歴史講座 「平安期から鎌倉前期までの加賀国の物語」	後藤 朗	38人
7	6月 5日(金) 10:00～12:00	心理学講座 「楽しく学ぶ、わかりやすい心理学」②	山本 紀子	18人
8	6月 9日(火) 13:30～15:30	心理学講座 「人に好かれる自分作り」	塚本 茂樹	38人
9	6月12日(金) 13:30～15:30	歴史講座 「心身脱落」から「つなぐ」思想へ	西本 宗之助	23人
10	6月20日(土) 13:30～15:00	歴史講座 「ふるさとを探る～加賀藩歴史物語①～」	中田 廉子	51人
11	6月22日(月) 13:30～15:00	健康講座 認知症予防②～これで防げる!～	竹下 知子	34人
12	6月24日(水) 13:30～15:00	生活講座 「石川県の輸出業の手順」	谷川 克己	13人
13	6月27日(土) 13:00～14:30	生活講座 「金沢観光がますます楽しくなる」	植茶 泰男	58人
14	6月27日(土) 14:45～16:15	歴史講座 「ふるさとを探る～加賀藩歴史物語②～」	中田 廉子	45人
15	6月30日(火) 13:30～15:00	生活講座 「祖父母世代の子育て塾 グランパ、グランマ出番です」	水島 栄美子	9人
16	7月 6日(月) 13:30～15:00	生活講座 「TPP(環太平洋パートナーシップ)と市民生活」	谷川 克己	9人
17	7月14日(火) 13:30～15:00	人生講座 「セカンドライフを満喫するために～お金と身体の健康法～」	石川 肇	18人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
18	9月3日(木) 13:30～15:30	生活講座 「小さな端末が個人の能力を拡大させる」～アプリの使用方法～	北口 隆	24人
19	9月9日(水) 13:30～15:00	文化講座 「色で元気！(シニアにやさしい色彩環境)」	渋谷 夏代	11人
20	9月15日(火) 13:30～15:00	生活講座 「クイズで楽しむ 役に立ちそうで立たない！？お金の雑学」	石川 肇	9人
21	9月19日(土) 13:00～14:30	歴史講座 「サリバン先生のヘレン・ケラーを育てた五感の教育」	北村 徹雄	12人
22	9月19日(土) 14:45～15:45	自然講座 「日本海のごちそう～エビとカニ～」	本尾 洋	6人
23	9月28日(月) 13:00～15:00	歴史講座 「石川県の偉人 日本社会福祉の祖 小野太三郎の福祉の心」	小坂 與繁	13人
24	10月9日(金) 13:30～15:00	健康講座 「セルフケアで元気印！健康美容で若返り！」	上野 佐奈美	13人
25	10月14日(水) 13:30～15:30	文化講座 「懐かしのSL」	下田 敬一	22人
26	10月20日(火) 13:30～15:00	健康講座 「キレイの素は骨盤にあり！～歪みを正して健康美人になりましょう～」	酒井 彰子	14人
27	10月21日(水) 13:30～15:30	自然講座 「トキ復活？～トキ保護活動の実践からわかること～」	西屋 馨	13人
28	10月27日(火) 13:30～15:00	歴史講座 『鎌倉中期から室町期までの「加賀国の物語」』	後藤 朗	36人
29	11月5日(木) 13:30～15:00	人生講座 「熟年からの第2の人生やる気を地域社会で活かそう！」	菅村 美知子	19人
30	11月6日(金) 13:00～15:00	文化講座 「誰でもできる！やってみよう九谷焼絵付け」	高島 敏彦	13人
31	11月19日(木) 10:00～11:30	健康講座 「認知症あっちいけ講座」	畠 紀子	10人
合 計				714人

事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者も講師も共に成長していける講座として定着しつつある。今年度は講師24名による31講座を開講することができ受講者総数は714人とこれまでで最大となった。「まなびすとルーム」を会場とすることで、開かれた講座を意識できた。受講者アンケートでは、「内容に興味を持てる」、「参考になる」との意見、感想が多かった。一方で、「講師の話し方」、「資料の提示の仕方」について改善すべきとの指摘もあったので、今年度は、講師打合せ会において、受講者アンケートの結果を説明し、講師が講座内容やプレゼンテーションを改善するための資料を提供した。

来年度は講座実施の様子を見ながら、講師養成研修の講座受講を勧めるなどの取り組みを行いたい。

(4) あすなる悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講師となる「あすなる悠々塾」において、次年度の講師となることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者 3名、修了者 1名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	講 師		参加者
1	7月8日(水) 13:00～15:30	開講式 講師基本1 プレゼンテーションの基本	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	3人
2	7月15日(水) 13:30～15:30	講師基本2 広く必要な方にとどけるためのツール活用	officeアシスタ 代表 山川 広美	選択 ※2,3の の中から 1つ選ぶ	1人
3	7月22日(水) 13:30～15:30	講師基本3 魅力的なチラシの作り方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		1人
4	7月29日(水) 13:30～15:30	講師基本4 スピーチプレゼンテーションの技法	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	1人
5	平成27年度「あすなる悠々塾」聴講 ※「あすなる悠々塾」講座⑱～㉾の中から1つ以上選んでください。				
	9月3日(木)	あすなる悠々塾⑱	「小さな端末が個人の能力を拡大させる」 ～アプリの活用方法～	選択	1人
	9月9日(水)	〃 ⑲	色で元気！(シニアに優しい色彩環境)		
	9月15日(火)	〃 ⑳	クイズで楽しむ 役に立ちそうで立たない！？ お金の雑学		
	9月19日(土)	〃 ㉑	サリバン先生のヘレン・ケラーを育てた五感の 教育		
		〃 ㉒	日本海のごちそう～エビとカニ～		
	9月28日(月)	〃 ㉓	石川県の偉人 日本社会福祉の祖 小野太三郎の福祉の心		
	10月9日(金)	〃 ㉔	セルフケアで元気印！健康美容で若返り！		
	10月14日(水)	〃 ㉕	懐かしのSL		
	10月20日(火)	〃 ㉖	キレイの素は骨盤にあり！ ～歪みを正して健康美人になりましょう～		
	10月21日(水)	〃 ㉗	トキ復活？～トキ保護活動の実践からわかるこ と～		
	10月27日(火)	〃 ㉘	鎌倉中期から室町期までの「加賀国の物語」		
	11月5日(木)	〃 ㉙	生き方講座 熟年からの第2の人生 やる気を地域社会で活かそう！		
11月6日(金)	〃 ㉚	誰でもできる！やってみよう九谷焼絵付け			
11月19日(木)	〃 ㉛	認知症あっちいけ講座			
6	11月24日(火) 13:30～16:00	企画書発表会、終了式		必修	1人

事業の評価(成果・課題)

今年度の修了生は1人であった。25年度からの3年間、修了者は毎年0～1名であり、研修の開講について検討する時期に来ている。

来年度は、募集チラシを工夫すると共に「あすなる悠々塾」の新規講師の募集、方法も検討したい。

(5) 人権講演会

趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として人権尊重の理念について、県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

対象・定員

一般及び公民館職員研修受講者 定員 100名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
6月25日(木) 13:00~14:30	人権講演会 演 題 「家族による介護」	NPO法人 きらっと 代 表 浦畑 眞一郎	75人

(注) 参加人数内訳：一般22人、公民館職員基礎研修38人、公民館職員専門研修15人

事業の評価(成果・課題)

全人口に占める65歳以上の人の割合が25%を超え、また核家族化が進む中、介護を必要とする高齢者が増え、家族や地域の支えがますます必要となっていく。在宅介護サービスなどの充実が一層図られなければならない現在において、家族による介護の大切さを確認する有意義な講演会であった。

次年度も身近に起こりうる人権問題をテーマとした講師を選定して、公民館職員等の人権意識の高揚に繋げる講演会となるよう努めたい。

(6) ゴールデンウィークスペシャル講演会

趣 旨

北陸新幹線金沢開業を記念して、兼六園周辺の文化施設との連携により、いしかわの伝統や文化に触れる様々な文化イベントを開催し、「兼六園周辺文化の森」の賑わい創出並びに生涯学習の拠点としての当センターの活性化を図る。

対象・定員

中高校生・一般 定員160名

会 場

本多の森庁舎 会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
5月5日(火) 14:00~15:30	演 題 「百万石の名園、その魅力」	石川県観光スペシャルガイド (元金沢城・兼六園管理事務所長) 森永 寿久	115人

事業の評価(成果・課題)

北陸新幹線金沢開業を記念した「兼六園周辺文化の森スプリングミュージアムウィーク」に合わせ、百万石の名園「兼六園」や新たに再現された「玉泉院丸庭園」などの魅力を紹介することをねらいに企画した。受講対象を一般県民に加え中高校生まで拡大し、近隣中学校向けにパンフを作製して配布・周知を図ったが、結果的に中高校生の受講は無かった。

受講者には、「兼六園」や復元された「玉泉院丸庭園」の特徴や魅力を再認識する有意義な講座となった。

今後は、若年層を取り込むような魅力ある企画等を検討していく必要がある。

(7)ファミリー・カレッジ in 本多の森

趣 旨

主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもを含む若年層の生涯学習に対する意欲を引き出し、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図る。

会 場

本多の森庁舎会議室

① 本多の森で一日留学

対象・定員

小学生とその保護者 100組

日 程

日 時	内 容	講 師	参加人数
8月1日(土) 14:00~16:00	イギリス、ロシア、ブラジル、イギリス、中国、韓国出身の5名の県国際交流員が、それぞれ子ども向けに下記のテーマで母国を日本語で楽しく紹介した。 テーマ 「イギリスの発明」 「ロシアの料理」 「ブラジルの自然」 「中国のパンダ」 「韓国のお祭り」	県国際交流員 イギリス：ビクター・チュア ロシア：アンドリュー・ヒナ・アナ ブラジル：ルカス・サビノ・ダニエル 韓国：カン・ミンジョン 中国：ラン・シュイ	44組 114人

事業の評価(成果・課題)

一連の「ファミリー・カレッジ in 本多の森」の最初の講座ということで、運営等については手探りの面が多かった。国ごとにテーマと会場を変え、5か国の講座から3講座を自由に選び、会場を移動しながら受講することとしたり、講座の時間を1回30分とし、一般向けの講座より短時間とするなど、子どもを飽きさせないよう運営を工夫した。夏休み中の土曜日に開催したこともあり、当日の参加者人数は、事前の申込者数を下回った。

受講者からは、「親子で楽しめた」など好意的な感想があった一方、「講師ともっと触れ合える時間があればよかった」など、今後の課題とすべき意見も多かった。また、学校を通じた広報を求める声や次回以降の講座に期待する声も寄せられた。

②「親子で楽しくミュージカル」

対象・定員

小学生とその保護者 50組

日 程

日 時	内 容	講 師	参加人数
10月25日(日) 13:30~15:30	第1部 トークショー 司会:吉道 さゆり (フリーアナウンサー) 第2部 ワークショップ ミュージカル体験	加藤 敬二 (劇団四季俳優、石川県出身)	40組 94人

事業の評価(成果・課題)

受講者は小学校低学年が中心であった。トークショーでは、加藤氏と吉道氏が子どもたちを飽きさせないよう展開を工夫してくれた。ワークショップは、講師の加藤氏の指導で子どもたちは楽しくミュージカルを体験することができた。また、保護者が参加する場面もあり、大変好評であった。

金沢ティーンズミュージカルの全面的な協力を得たことにより講座運営をスムーズに行うことができた。講座の趣旨である30歳代から40歳代の子育て世代を集めることができた。

③「親子で楽しむ将棋」

対象・定員

小学生とその保護者 50組

日 程

日 時	内 容	講 師	参加人数
10月25日(日) 13:30～15:30	第1部 講演 第2部 ワークショップ 大盤を使った将棋解説、クイズ等 (運営補助:金沢市立紫錦台中学校 囲碁将棋部)	橋本 崇載 (将棋棋士 八段、石川県出身)	52組 124人

事業の評価(成果・課題)

講師に対して事前に受講者の年齢層を伝えてあったが、講演は小学校低学年の子どもにとってやや難しい内容であった。ワークショップは、将棋の経験年数や技量等の個人差が大きいためか、楽しんでいる子どもとそうでない子どもとが見られた。

講師との事前打ち合わせ及びリハーサルを十分に行うことができず、当日の運営に難しい面が生じた。今後、ワークショップを伴う講演を実施する場合の大きな課題である。

④「親子ワクワク・レシピを考えよう！」

対象・定員

小学生とその保護者 50組

日 程

日 時	内 容	講 師	参加人数
3月6日(日) 13:30～15:40	第1部 講演「レシピの作り方」 第2部 ワークショップ 「親子でレシピ作り」「レシピの紹介」 (運営補助:北陸学院大学短期大学部 食物栄養学科学生) 第3部 「石川県食材の紹介及び試食」	第1部・第2部 コウケンテツ (料理研究家) 第3部 北陸学院大学短期大学部 食物栄養学科学生・教職員	52組 118人

事業の評価(成果・課題)

コウケンテツ氏は、テレビ等で活躍し知名度も高いことから、チラシ配布後約1週間で定員に達した。今回は、エージェントを通さずに所属プロダクションと直接交渉したので、事務連絡等を大変スムーズに行うことができた。また、これまでの反省を踏まえ、当日リハーサルを十分に行ったので運営も円滑であった。

レシピ作りの補助や石川県産食材を使った料理の提供において、北陸学院大学短期大学部食物栄養学科の全面的な協力を得た。また、国の「食のモデル地域育成事業」の補助、JA金沢市安原支店からは米等の提供を受けた。

アンケート結果を見ると今回の「ファミリー・カレッジin本多の森」は大変好評であった。参加した子どもは小学校1、2年生が半数を占めていることから、今後は、小学校低学年でも楽しめるよう内容を考慮する必要がある。

(8) 兼六ビデオ講座

趣 旨

石川県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	5月19日(火) 14:00～16:00	いしかわ大百科 いしかわの歴史街道① 金沢の大動脈 金石往還・石引道	ふしぎ玉手箱 金沢 兼六園	シリーズ北陸の工芸作家 石川の匠たち 「炎と土と色」 文化勲章受章者 浅蔵五十吉	34 人
2	6月 2日(火) 14:00～16:00	〃 ② 源平合戦の道1 ～奇襲・火牛の計～	いしかわ大百科 いしかわの歴史街道③ 源平合戦の道2 ～義仲躍進の果てに～	〃 「木魂」 人間国宝 川北良造	38 人
3	6月16日(火) 14:00～16:00	〃 ④ 日本海航路 ～海の道と北前船～	よみがえる金沢城 第一巻 石垣の技と美	〃 「即是色」 人間国宝 三代 徳田八十吉	54 人
4	7月 7日(火) 14:00～16:00	〃 ⑤ 祈りの道 ～禅定道と三馬場～	〃 第二巻 堀と縄張り	〃 「和光」 人間国宝 大場松魚	46 人
5	7月21日(火) 14:00～16:00	〃 ⑥ 藩主が行く 能登巡見の道	〃 第三巻 金沢城の建物	〃 「邂逅」 人間国宝 隅谷正峯	43 人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)		参加人数
1	8月11日(火) 14:00～16:00	いしかわ大百科 シリーズ・いしかわの礎① 「観光都市のシンボル JR金沢駅」	世界の遺産シリーズ イラン	41 人
2	8月25日(火) 14:00～16:00	〃 ② 「能登の悲願 大動脈と夢の架け橋」	〃 トルコ	32 人
3	9月15日(火) 14:00～16:00	〃 ④ 「小松・能登 2つの空港物語」	〃 エジプト	27 人
4	9月29日(火) 14:00～16:00	〃 ⑥ 「赤レンガの文化ゾーン 四高・歴博」	ワイルドライフ 世界自然遺産 知床 角がつなぐ！エゾシカ命の物語	25 人
5	10月13日(火) 14:00～16:00	〃 ⑦ 「石川の水がめ 手取川ダム」	〃 小笠原諸島 絶海の楽園に奇跡の進化を見た	21 人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	11月10日(火) 14:00～16:00	いしかわ大百科 いしかわの先駆者達① 野鳥の父 中西悟堂	極める・日本の美と心 南禅寺	古典名作撰 (第1期) 土佐日記	32 人
2	11月24日(火) 14:00～16:00	〃 ② 世界に羽ばたく哲学者 鈴木大拙	〃 萬福寺	〃 (第2期) 今昔物語集	37 人
3	12月 8日(火) 14:00～16:00	〃 ③ 不屈の研究者 高峰譲吉	〃 建仁寺	〃 (第2期) 大鏡	30 人
4	1月12日(火) 14:00～16:00	〃 ④ ポンプの神様 井口在屋	〃 大覚寺	〃 (第3期) 新古今和歌集	31 人
5	1月26日(火) 14:00～16:00	〃 ⑤ 近代水産業の開拓者 関沢明清	〃 清水寺	〃 (第3期) 方丈記	31 人
1期から3期までの合計					522 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は3期に分け、それぞれテーマを変えて開講した。

県民大学校放送利用講座として過去にテレビ放映された「いしかわ大百科」は、「いしかわの歴史街道」「いしかわの礎」「いしかわの先駆者達」の3テーマで、3期とも教材として活用した。

また1期では、兼六園や金沢城の知られざる一面を取り上げたビデオ及び石川の工芸作家を取り上げたビデオを使用した。

いずれの作品も、石川県の歴史・文化を学び、郷土についてより深く知りたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも好評であった。

2期では「世界遺産」を取り上げたビデオを、3期では日本の寺院の「美」を取り上げたビデオと古典の名作を取り上げたビデオを活用したが、こちらも日本・世界の歴史文化や自然をより深く学ぶことが出来たと好評であった。

いずれも解説を加えることでより理解しやすくなっており、これもこの講座が好評である一因となっている。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質のビデオ教材を数多く所蔵しており、今後もこれらの教材を活用した講座を継続し、県民に学ぶ機会を提供していくことが必要と考える。

なお、3期に分けて実施したことにより、延べ参加人数・実受講者数ともに昨年度より増加している。年間を通じた実施テーマが広がったことから、より多くの県民ニーズに応えることができたと言える。

(9) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵する貴重な16ミリ映像教材を活用し、体験することが難しくなりつつある映写機によるフィルム上映の味わいととも、過去の自然文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演題)	参加人数
1	6月29日(月) 14:00～15:30	「総力戦という戦い 第一次世界大戦」、 「明けゆく日本列島」	29 人
2	7月27日(月) 14:00～15:30	「ヒロシマナガサキ」、 「明日を拓く -北陸自動車道建設の記録-」	23 人
3	8月31日(月) 14:00～15:30	「東京消失 -関東大震災の記録-」、 「橋は生きている -瀬戸大橋建設の記録-」	30 人
4	10月26日(月) 14:00～15:30	「東西の接点 イスタンブルを歩く」、 「風土記・北陸」	25 人
5	11月30日(月) 14:00～15:30	「未来への遺産」、 「ジョエルマ・ビルの惨事」	24 人
合 計			131 人

事業の評価(成果・課題)

過去の記録や歴史資料など、貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見ることの出来ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。

また、近年映画館も含め、フィルム上映が行われる機会が激減している中で、映写機による上映を体験する機会を県民に持ってもらうことは、映像文化の面からも非常に重要であると思われる。

フィルムライブラリーを有する当センターが、今後ともこの重要な責を担っていく必要がある。

(10)本多の森映画会

趣 旨

視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

対象・定員

一般県民 80名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	5月2日(土) 10:00~12:00	「辻口博啓が語る 加賀“茶の湯”物語 ~いまに受け継ぐ工芸、もてなしの美学~」 「金沢城・兼六園シリーズ 20周年記念DVD選集」	43 人
2	5月2日(土) 14:00~16:05	「そして父になる」	79 人
3	10月23日(金) 14:00~16:20	「ふるさとがえり」	35 人
4	11月1日(日) 10:00~11:30	「禁じられた遊び」	53 人
5	11月1日(日) 14:00~16:00	「スープ・オペラ」	34 人
6	11月6日(金) 14:00~16:00	「シャレード」	55 人
合 計			299 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、往年の名作映画と、近年制作の話題作や地域の絆を取り上げた作品の上映を行った。また5月にはスプリングミュージアムウィークに合わせ、石川県の文化や金沢城・兼六園を取り上げたビデオ等を上映した。

メインターゲットとした中高年世代に大変好評であり、継続して映画上映会の実施を望む声が多く聞かれた。

実施時期については、スプリングミュージアムウィーク・秋のミュージアムウィーク・マナビィフェアに合わせた形としたが、実施曜日については、土曜日や日曜日の午前・午後開催という新しい試みを行い、利用者層の拡大を図った。

今後も、より利用者が参加しやすい環境での上映会の実施を検討したい。

(11) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回200名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月30日(木) 13:30~15:30	・「世界めいさく童話」より 3びきの子ぶた/ブレーメンの音楽隊/アラジンとまほうのランプ ・ココロ屋	177 人
2	7月31日(金) 13:30~15:30	・竹取物語 (2日間とも同じ作品を上映)	178 人
合 計			355 人

事業の評価(成果・課題)

例年、予約で満席となり申込みを断っている状況が続いていたことから、平成27年度は、2日間同一プログラムで上映することとし、参加者の分散と予約受付の柔軟性向上を図った。

結果として、市内の児童クラブ、保育園等の団体鑑賞や、家族での鑑賞など、多数の県民の参加者を受け入れることができた。臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。また児童クラブ等においては、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。

来年度も多くの参加者が鑑賞しやすいよう、上映作品の選定や上映方法に工夫を凝らすとともに、引き続き鑑賞に適した同会場の利用を検討したい。

(12) 本多の森キッズシアター

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回40名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月6日(木) 10:30~12:00	①「ふるさと再生日本の昔ばなし」より わらしべ長者/天の羽衣/厩の神様	45人
2	8月6日(木) 13:30~15:00	②それいけ!アンパンマンいっしょにおべんきょう2 アイスだ!すいかだ!うきうき海水浴	30人
3	8月7日(金) 13:30~15:00	③あらしのよるに ひみつのともだち 第1話 あらしのよるに	42人
4	8月17日(月) 13:30~15:00	①「イソップ童話全集」より いなかのねずみと町のねずみ/けんかした牛	43人
5	8月18日(火) 10:30~12:00	②日本おとぎばなし あずきおぼけ	60人
6	8月18日(火) 13:30~15:00	③物語 フランダースの犬	37人
7	11月7日(土) 10:00~11:30	①小さな郵便飛行機ペドロ ②ピーターとおおかみ ③ドナルドダックとかわいい子リス	54人
8	11月7日(土) 13:30~15:00	④プルトのクリスマスツリー ⑤ミッキーマウスのキャンピングカー ⑥ミッキーマウスのバンドコンサート	23人
合 計			334人

(番号1 及び 番号5 は、追加の上映回)

事業の評価(成果・課題)

昨年度より実施している事業で、上映は当センター内で行った。また広報は「夏休み子ども映画会」同様、公民館等社会教育施設のほか、金沢市内の学童クラブ、幼稚園・保育園に対しても行った。

参加者に児童クラブ・幼稚園・保育園等の団体を取り込むことが出来たため、8月は休業期間中の行事としてのニーズに合致し、追加上映を含めた多数の参加を得た。また11月は長期休業期間では無かったものの、延べで定員に近い人数の参加を得ることが出来た。

「夏休み子ども映画会」と併せ、休業期間中の子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらう機会となっており、引き続き次年度以降の実施と、より多くの子どもたちに視聴してもらえる環境づくりの検討を行いたい。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」・「講師案内」・「視聴覚教材情報」・「ふるさと情報」・「イベント情報」の提供をインターネット上で行っている。また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び、当センターの主催講座「ふるさとモット学び塾」の講座の一部の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応じて、充実した生涯学習情報を県民に提供するシステムである。

対 象

一般県民

運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置して石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

<データベース> 17,161件 (平成28年3月末現在)

ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438件
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ教材	11,325件
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	210件
講座案内	県内の各種講座・講演会等	2,685件
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	462件
映像	今蘇る石川の記録映画・講座ビデオ(ふるさとモット学び塾等)	41件

利用状況

(平成28年3月末現在)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
データベース	38,162	41,024	44,162	48,350	50,476

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県民企画展示コーナー（マナビィコーナー）・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材（16ミリフィルム・ビデオ等）の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対象

各市町教育委員会、公民館及び団体等（ビデオ・CD・DVDは個人も対象）

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

視聴覚教材保有状況（平成28年3月末現在）

区分	本数	平成26年度末	平成27年度		合計
			購入	寄贈・その他	
16ミリフィルム		1,556本	0本	0本	1,556本
ビデオテープ		5,931	0	-1	5,930
CD		823	0	0	823
DVD		1,401	77	71	1,549

利用状況（平成28年3月末現在）

区分	本数	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム		218	5,252	65	4,209	74	4,093	82	3,118	73	2,852
ビデオテープ		3,322	15,542	1,762	11,081	1,185	5,618	282	4,629	72	2,999
CD		863	4,748	501	1,373	331	867	656	1,113	900	1,895
DVD		1,405	10,130	1,025	7,543	1,712	9,623	2,985	13,311	3,233	17,362

(4)16ミリ映画教材提供

趣 旨

市町教育委員会と連携し、市町の公民館等生涯学習施設において、県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵する16ミリ映画の上映を行うことにより、幅広く県民の生涯学習活動を支援する。

対象・定員

子ども・一般 定員は各会場による

会 場

- 第1回 小松市立空とこども絵本館
- 第2回 加賀市片山津地区会館
- 第3回 宝達志水町役場大集会室
- 第4回 加賀市片山津地区会館
- 第5回 小松市立空とこども絵本館
- 第6回 金沢市小立野公民館
- 第7回 内灘町文化会館
- 第8回 白山市立郷公民館

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月21日(日) 14:00～15:00	「がんばれスイミー」、「おやゆび姫」、「よっちゃんの不思議なクレヨン」	34 人
2	7月17日(金) 13:30～15:30	「家族」	16 人
3	7月26日(日) 10:00～11:00	「ミッキーマウスのたのしいゆめ」、「グーフィーの正しいルールを守ろう」、「ミッキーマウスと魔法の帽子」、「ミッキーマウスのキャンピングカー」、「ドナルド・ダックと貯金箱」、「ミッキーマウスのバンドコンサート」	80 人
4	8月12日(水) 13:30～15:30	「アルプスの少女ハイジ」	17 人
5	10月 4日(日) 14:00～15:00	「子ぶたの冒険」、「魔法のびん」、「しっぽの釣」、「笠じぞう」、「ミッキーマウスと魔法の帽子」	25 人
6	10月 6日(火) 10:00～11:40	「鬼がら」、「笠じぞう」、「利休の茶」	26 人
7	12月 4日(金) 13:20～15:20	「典子は今」	128 人
8	2月 7日(日) 10:00～11:00	「高瀬舟」	63 人
合 計			389 人

事業の評価(成果・課題)

16ミリ映画は、フィルム、映写機とも貴重な財産であり、またフィルム上映そのものが貴重な文化であるので、使える間に少しでも多くの県民に利用し、体験していただくことが重要である。当年度においても新たな施設と連携して事業を実施できたことは、大きな成果であったといえる。

今後も、市町の生涯学習活動を支援する視点から、利用申込み期限を設けないなど、柔軟に利便性を向上させた事業となるように工夫していきたい。

(5) 生涯学習センターだより(館報)

発行日 ・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月22日 第270号	表題 「みんなが生き生きと」 執筆者 石川県教育委員会事務局生涯学習課長 篠原 恵美子	表題 「地域の映像記録と発信」 執筆者 生涯学習センタービデオクラブ幹事 岡野 重和
11月25日 第271号	表題 「社会教育、生涯学習50年の思い」 執筆者 石川県立生涯学習センター館長 近藤 繁彦	表題 「石川県との不思議な出会い」 執筆者 ファシリテーター養成講座講師 富永 良史

(6) 県民企画展示マナビィコーナー

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月 2日(木)～4月29日(水) 9:00～18:00	陶器作品展－生活の器－	高本 隆
2	5月 1日(金)～5月29日(金) 〃	絵手紙いろいろ展	みそぐら絵手紙 グループ
3	6月 1日(月)～6月30日(火) 〃	松本和也個展「ボーダー・ライン～カズ・ヤンから松本和也へ」(油絵)	松本 和也
4	7月 1日(水)～7月31日(金) 〃	ジオラマ展～心に残る風景～	山田 外喜枝
5	8月 2日(日)～8月28日(金) 〃	いしかわアートくらぶ作品展 in 本多の森庁舎「かなざわ、夏のおもてなし」	いしかわアートくらぶ
6	9月 1日(火)～9月30日(水) 〃	水墨・顔彩画 中出正樹展	中出 正樹
7	10月 1日(木)～10月29日(木) 〃	編みぐるみとパペット作品展	渡辺 ふじ子
8	10月31日(土)～11月30日(月) 〃	木目込み人形展	木目込み人形工房 イーストン
9	10月31日(土)～11月30日(月) 〃	第35回石川県児童生徒俳句大会入賞作品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
10	12月 2日(水)～12月25日(金) 〃	えび・かにコレクション	本尾 洋
11	1月 7日(木)～1月30日(土) 〃	アーティフィシャルフラワー作品展	Michiフラワーデザイン 教室
12	2月 1日(月)～2月28日(日) 〃	思い出の写真いろいろ	谷内 修一
13	3月 2日(水)～3月28日(月) 〃	美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、陶芸、絵画、水墨画、写真など広い分野にわたる展示のほか、ジオラマ展やアーティフィシャルフラワー作品展など新しい分野の展示も行われ、多くの人々にご来館頂き、生涯学習の啓発にも繋がった。今後も、県民がより気軽に利用できるよう、展示コーナーの運営、工夫に努めるとともに、PRの方法についても検討していきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 60名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月21日(木) 10:00~10:40	石川県の生涯学習の施策	石川県教育委員会生涯学習課課参事 清水 茂	40人
	10:40~11:20	県立生涯学習センターの事業概要	石川県立生涯学習センター担当課長 西野 正洋	40人
	11:30~12:00	公民館活動	金沢市菊川町公民館館長 長谷 勝彦	40人
	13:00~13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会会長 関戸 正彦	40人
	14:00~16:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	40人
2	5月28日(木) 10:00~12:00	公民館におけるHPの活用	金沢市田上公民館 文化教養部長 福田 和夫 金沢市戸板公民館 主事 浦島 孝弘	37人
	13:00~16:00	伝わるチラシ・館報の作り方 (グループ討議)	ホロデックス代表 村本 睦戸	36人
3	6月11日(木) 10:00~12:00	生涯学習・社会教育活動と地方再生	文部科学省生涯学習政策局 社会教育課課長補佐 佐藤 秀雄	33人
	13:00~16:00	〃 (グループ討議)		
4	6月25日(木) 10:00~12:00	コミュニケーション能力向上	杉原企画代表 杉原 美佐子	38人
	13:00~14:30	人権講演会 「家族による介護」	NPO法人 きらっと代表 浦畑 眞一郎	38人
	14:40~16:10	人間関係づくり	石川県レクリエーション協会指導員 岡田 千砂	38人
5	7月16日(木) 10:00~12:00	学校・家庭・地域の連携について	富山大学地域連携推進機構教授	25人
	13:00~16:00	〃 (グループ討議)	藤田 公仁子	
合 計				445人

(注) ・5月21日・6月25日・7月16日は必修講座

- ・5月21日は市町生涯学習担当者基礎研修と合同開催。(参加人数は上記以外に担当者基礎研修10人)
- ・6月11日は専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。(参加人数は上記以外に専門研修14人、市町等担当者研修15人) ※会場:石川県行政庁舎1105会議室
- ・6月25日の「人権講演会」は専門研修と合同開催及び一般公開。(参加人数は上記以外に専門研修15人、一般22人)

事業の評価(成果・課題)

基礎研修は、一昨年から市町の要望等を考慮して毎年の開催とした。同時に修了要件についても見直しを実施した。5日間のうち3日間を必修講座に設定した。一部の市町において変更内容が十分理解されていないことから、今後、機会を捉えて周知の徹底を図ることとしたい。

また、研修講座の内容は、新任の公民館館長・公民館主事等を対象とした研修であることから広範なカリキュラムとなるよう編成した。

なお、受講者は、県内11市町から49名が受講し、館長17名、主事等21名が修了した。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 40名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月4日(木) 10:00~12:00	公民館による学びの場のデザイン	金沢美術工芸大学教授 桑村 佐和子	15人
	13:00~16:00	地域課題に対する学びの場の検討 (グループ討議)		15人
2	6月11日(木) 10:00~12:00	生涯学習・社会教育活動と地方再生	文部科学省生涯学習政策局 社会教育課課長補佐 佐藤 秀雄	14人
	13:00~16:00	〃 (グループ討議)		
3	6月25日(木) 10:00~12:00	地域活性化をめざす公民館活動	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	15人
	13:00~14:30	人権講演会 「家族による介護」	NPO法人 きらっと 代表 浦畑 眞一郎	15人
	14:40~16:10	地域活性化をめざす公民館活動 (グループ討議)	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	15人
合 計				89人

(注) ・6月4日・6月25日は必修講座

- ・6月11日は基礎研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。(参加人数は上記以外に基礎研修33人、生涯学習・社会教育担当者等研修15人) ※会場:石川県行政庁舎1105会議室
- ・6月25日の「人権講演会」は基礎研修と合同開催及び一般公開。(参加人数は上記以外に基礎研修38人、一般22人)

事業の評価(成果・課題)

専門研修は、一昨年より2ヶ年の課程で修了としたことから、前年度の履修演題との重複がないよう編成し、本年度は公民館活動の充実を主題に選定した。

なお、受講者は県内6市町から初年度受講者と合わせ16人が参加し、今年度2年目に当たる館長1人、主事等9人が修了した。

(3)ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員等にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象・定員

市町職員、公民館職員、NPO職員及び一般
【入門編】 40名 【応用編】 30名

会 場

本多の森庁舎会議室等

日 程

【入門編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	7月2日(木)	10:00~16:00	入門講座① 発創デザイン研究室 代表 富永 良史	45人
2	7月3日(金)	10:00~16:00	〃 ② 〃	44人
3	7月18日(土)	13:30~16:00	修了生実践事例紹介 株式会社 終活支援ネットワーク石川 代表取締役 浜崎 泰彦 上野 佐奈美 NPO百万石ワールドカフェ 西田 禎	44人
合 計				133人

【応用編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月10日(木)	10:00~16:00	応用講座① 発創デザイン研究室 代表 富永 良史	26人
2	9月11日(金)	10:00~16:00	〃 ② 〃	24人
3	9月24日(木)	13:30~16:00	実地体験計画 生涯学習センター職員	22人
4	9月25日(金) ~11月20日(金)	実地体験(各自)		24人
5	12月1日(火)	13:00~16:10	実地体験報告会 修了式 発創デザイン研究室 代表 富永 良史	21人
合 計				117人

事業の評価(成果・課題)

入門編には58名の応募があり、定員を上回る45名が受講した。今年は、前年度までの受講生で若干の単位不足で修了できなかった方について、未修得の講座を受講してもらうなど工夫した結果、修了生を20名確保することができた。講座開設以来の修了生は計133名となった。今年度修了できなかった3名には、同様の対応により来年度修了できるようにしたい。

富永氏は、本講座の講師5年目となる。受講者のアンケートを見ると全員が「すごく良かった」または「良かった」と回答しており、大変好評であった。

今後の課題は、現在、民間企業からの受講者が多くなっているが、市町職員、公民館職員、社会福祉協議会職員等の受講を増やすことである。また、修了生がスキルアップを図るための機会の提供や連携する場を設けることに取り組みたい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

今年度、市町の生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

対象・定員

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者 30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月21日(木) 10:00~10:40	石川県の生涯学習の施策	石川県教育委員会生涯学習課課参事 清水 茂	10人
	10:40~11:20	県立生涯学習センターの事業概要	石川県立生涯学習センター担当課長 西野 正洋	10人
	11:30~12:00	公民館活動	金沢市菊川町公民館館長 長谷 勝彦	10人
	13:00~13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会会長 関戸 正彦	13人
	14:00~16:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	13人
2	5月22日(金) 10:00~12:00	生涯学習・社会教育担当者に求められること	金沢美術工芸大学教授 桑村 佐和子	13人
	13:00~16:00	コーディネーター力向上 ～人を動かす話し方～		13人
合 計				82人

(注) ・5月21日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修 40人)

事業の評価(成果・課題)

- 1日目は、公民館職員基礎研修と合同で生涯学習・社会教育の概要を学ぶ。
2日目は、生涯学習・社会教育担当職員に求められる能力について講義を受け、ワークショップでは、他市町の新任の職員との意見交換を行う。
参加者からは、他市町の方と交流できて、実践に役立つ内容であり、好評だった。
来年度も同様の内容・方法による研修を実施したい。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材としての16ミリフィルムの活用活性化を図るとともに、フィルムの保全のために、正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定 講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

日 程

番号	日 時	時 間	参加人数
1	4月27日(月)	9:30~13:00	3人
2	6月18日(木)	13:30~17:00	3人
3	11月26日(木)	13:00~16:30	1人
4	3月14日(月)	13:30~17:00	1人
合 計			8人

事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて講習会を実施している。16ミリ映画教材利用の拡大、映写技術の継承のためにも、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 マナビフェアin本多の森

趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主 催

石川県立生涯学習センター、いしかわ生涯学習講師の会（*）

会 場

石川県本多の森庁舎

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
プレイベント	県民大学校実施機関及び近隣公民館等の展示 （石川県立自然史資料館、金沢市小立野公民館、金沢市崎浦公民館、金沢市材木公民館） 県民大学校講座等紹介パネルの展示	10月18日(日) ～22日(木) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	1,824 人
	石川県立生涯学習センター所蔵色紙展 「色紙でたどる講座」 県民大学校講座等紹介パネルの展示	10月26日(月) ～11月3日(火) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	400 人
展 示 ・ 実 演	県民大学校実施機関及び近隣公民館等の展示 （石川県立自然史資料館、金沢市小立野公民館、金沢市崎浦公民館、金沢市新堅町公民館、金沢市味噌蔵町公民館） 県民大学校講座等紹介パネルの展示	11月 6日(金) 13:00～18:00 11月 7日(土) 9:00～18:00 11月 8日(日) 9:00～16:00	1階ロビー	一 般 な し	2,997 人
	ジャム・梅干し・木工製品等の販売 （石川県立明和特別支援学校）	11月 7日(土) 9:00～12:00			
	ハンドベル演奏 （北陸学院中学校）	11月 7日(土) 15:00～15:15			
	第34回石川県児童・生徒俳句大会入選作品展 （石川県俳文学協会児童生徒俳句委員会） 木目込み人形展 （木目込み人形工房イーストン）	11月 6日(金) ～8日(日) 9:00～18:00	まなびすとルーム （マナビィコーナー）	一 般 な し	59 人
	似顔絵コーナー （石川県立金沢辰巳丘高等学校）	11月 7日(土) 13:00～16:00	まなびすとルーム （学習スペース）	一 般 な し	49 人
県民大学校講座	あすなる悠々塾 「誰でもできる！やってみよう 丸谷焼絵付け」 講師：高島 敏彦	11月 6日(金) 13:00～15:00	まなびすとルーム （学習スペース）	一 般 30名	14 人
	* 緑陰講座in本多の森 「脳卒中の予防と対応 ～身近な体験を通して～」 講師：谷口 和男	11月 6日(金) 13:30～15:30	県民大学校教室2	一 般 20名	15 人
	ふるさとふれあい講座 「芳春院まつと加賀」 講師：瀬戸 薫（歴史研究家）	11月 7日(土) 13:30～15:00	第2会議室	一 般 130名	162 人
	ファミリーカレッジin本多の森 「親子で楽しむ将棋」 講師：橋本 崇載（将棋棋士・八段）	11月 8日(日) 13:30～15:30	第2会議室	小学生 保護者 50組	124 人
ビデオ映画上映会	本多の森映画会 「シャレード」	11月 6日(金) 14:00～16:00	第3会議室	一 般 80名	55 人
	本多の森キッズシアター 「ディズニー短編映画特集」	11月 7日(土) 10:00～11:30 13:30～15:00	県民大学校教室1	幼児 小学生 80名	77 人
	SVCビデオ作品上映会 （生涯学習センタービデオクラブ）	11月 7日(土) 10:00～12:00	まなびすとルーム （学習スペース）	一 般 30名	22 人
11月6日(金)～8日(日)の入館者数					3,733 人

事業の評価（成果・課題）

従前よりも1日延長し週末の3日間開催したことにより、講座や映画会では例年に比較し若い年齢層の参加がみられた。また、県民大学校実施機関及び近隣公民館等との連携が深まったことにより、1階ロビーの展示・実演の参加人数も増加した。隣接する本多の森ホールのイベントによる相乗効果もあり、期間中の入館者数は昨年度に比べ78%増の3,733名となった。今後も事業を継続し、生涯学習センターの取り組みについて広く県民の理解を得られるようにしたい。

8 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム

趣 旨

県内の社会教育生涯学習・学校教育等の関係者が集い「地域と連携・協働するふるさと教育」をテーマに、実践を交流し、課題と展望を共有することで、『石川県の教育振興基本計画』がめざす、学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、石川県教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

協 力

石川県社会教育協会

対象・定員

一般県民、県・市町生涯学習・社会教育職員関係者、公民館職員、学校教育関係者、PTA関係者等

会 場

石川県行政庁舎 1105会議室

参加人数

133人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
1月28日(木) 13:15～13:20	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 篠原 恵美子
13:20～14:20	基調講演 「風土に学び、地域を創る ふるさと学習」	宇都宮大学基盤教育センター特任准教授 蜂屋 大八
14:30～16:25	パネルディスカッション 「地域と連携・協働し、郷土愛を育むには」	コーディネーター 宇都宮大学基盤教育センター特任准教授 蜂屋 大八 パネリスト 岐阜県立益田清風高等学校 中村 浩一 加賀市立大聖寺公民館長 伊林 永幸 金沢大学学生サークル「飛脚～HIKYAKU～」 地域創造学類4年 皆瀬 勇太 高島 めぐみ
16:25～16:30	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

基調講演では、「地元学」の意味、「生活まるごと博物館」としての「エコミュージアム」の概念、郷土愛を育む教育の実践例など「ふるさと学習」の在るべき姿について認識を深めることができた。パネルディスカッションでは、学校教育・地域・学生それぞれの立場で優れた取組を進めている方々から実践報告や現状分析がなされ、非常に興味深い内容であった。高等学校における「地域社会人」を育てる取組、地域に伝わる怪談をうまく使った地域の歴史・文化を継承するユニークな取組、学生らしい発想で創り上げてきた「石川トランプ」の取組等が紹介された。小学生から大人の各世代それぞれの段階でどのような学習を展開し、どのような目標をもって学習を組み立てていけばよいか、各世代の役割や各世代の持つ長所を活かすこと、異世代間の関係づくり、地域在住者と外から来た者の視点・意見の交流、無意識であっても地域をまとめる力の発見といった「ふるさと学習」に必要なものについて多くの示唆を受けることができた。高校生とともに「ふるさと学習」を創り上げてきた教師、地域の各世代が生き生きと活躍することができた講座の様子、若い学生の柔軟な発想や発表能力などを目にするのができ、このパネルディスカッション自体が学校教育・地域・学生のそれぞれの特徴を活かし、相互に連携・協働する「ふるさと学習」を体現できる内容となった。

全体として「学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする」という趣旨を達成することができたと考えられる。今年度の「地域と連携・協働するふるさと教育」のテーマは、参加者の多数を占める公民館と高等学校関係の両者が満足できるもので良かった。公民館・高等学校関係の両者が参加する会としてテーマ設定の工夫が今後も課題となると考えられる。

(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

地方創生の実現に必要な地域の自主・自律的な運営に向け、社会教育が学びを通じて貢献していくことが大切と考えられる。さらに、国の総合戦略の中にも「生涯学習を通じた地域活性化」、「公民館・図書館における社会教育を通じた『ふるさと』に対する誇りを高める施策の推進」が盛り込まれている。

そこで、「生涯学習・社会教育活動と地方創生」をテーマに研修を行い、現状と課題を見つめ、これからの生涯学習による地域社会づくりの推進に必要な職員としての資質の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県教育委員会

対象・定員

市町教育委員会生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館職員

会 場

石川県行政庁舎 1105 会議室

参加人数

62人 内訳は、生涯学習・社会教育担当職員15人、公民館職員基礎研修33人、専門研修14名

期 日

平成27年6月11日(木) 10:00～16:00

日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:05	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 篠原 恵美子
10:05～11:15	基調講演 「生涯学習・社会教育活動と地方創生」	文部科学省生涯学習政策局社会教育課課長補佐 佐藤 秀雄
11:25～11:45	講義 「市民の学びとまちづくり」	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重
13:00～15:45	研究協議 発表 熟議「生涯学習・社会教育活動と地方創生 ～若者の活躍と地域づくりの人材育成～」	
15:45～16:00	講評・ 閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

基調講演では講師から、「地方創生と今後の社会教育行政の方向性について」をテーマに、最近の社会教育に関する国政の動向や施策、課題解決・地域づくりに資する社会教育行政の役割と今後の方向性について詳しい説明と紹介があった。講義では、基調講演の内容を受け、「住民の学びと地域づくり」に資する公民館の役割について、具体的で分かりやすいお話があった。研究協議では、参加者を10班に分け、グループ討議とその報告を行ったが、積極的な意見交換や話し合いが行われ、アンケートでは、「気付きが増えた、視野を広めることができた、いろいろなアイデアが出て参考になった」など好評であった。

全体として、趣旨を達成することができたと考えられるが、公民館職員の学びの欲求に応えるテーマ・講演内容・講師の選定、テーマに迫るより具体的な研修の方法、研修の在り方について、更に検討する必要があると、課題としたい。また、各公民館の実践交流の時間が特に好評であったので時間的・内容的な充実の必要が感じられた。今後も、有意義な情報交換と参加者の意欲を高める場を提供したい。

(3) 社会教育主事等フォローアップ研修

趣 旨

新しい時代に対応した生涯学習社会の実現を目指していくためには、それぞれの地域で実際に事業活動の推進に中核的な役割を果たす社会教育主事等がその力を十分に発揮することが重要である。

そのために、社会教育の専門的職員として必要な専門的な知識や技術に関する研修を行い、市町の指導的立場にある社会教育専門職員としての実践的な力量の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会・石川県教育委員会

共 催

金沢大学地域連携推進センター

対象・定員

社会教育主事、社会教育主事講習修了者、各市町の生涯学習・社会教育行政担当者、生涯学習・社会教育施設等に勤務している者

会 場

石川県行政庁舎 802会議室（19日 13:15～16:00）

石川県立白山青年の家（19日 17:15～22:00 ・ 20日 8:45～11:50）

参加人数

46人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
2月19日(金) 13:15～13:20	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 篠原 恵美子
13:20～14:50	講演 「社会教育におけるアクティブラーニング」	金沢大学 大学教育開発・支援センター特任助教 河内 真美
15:00～16:00	講演 「北陸三県の現状・ 平成28年度新規事業について」	福井県教育庁生涯学習・文化財課参事 百田 忠浩 富山県教育委員会事務局 生涯学習・文化財室主任社会教育主事 清水 俊充 石川県教育委員会事務局生涯学習課参事 清水 茂
17:15～17:30	オリエンテーション	
18:00～19:30	夕食・入浴	
19:30～20:30	グループ別討議 「各市町の生涯学習・社会教育の 現状と課題について」 「各市町の公民館活動の 現状と課題について」	
20:30～22:00	情報交換会	

<p>2月20日(土)</p> <p>8:45～11:45</p>	<p>講義 1 「人が集まる！ ライターの文書テクニック」</p> <p>講義 2 「魅力的なチラシは テンプレートを変えろ」</p>	<p>講義 1 コトバ屋 conifer フリーライター 小杉 智美</p> <p>講義 2 ITコーディネーター 迎 崇</p>
<p>11:45～11:50</p>	<p>閉会挨拶</p>	<p>金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重</p>

事業の評価(成果・課題)

金沢大学大学教育開発・支援センター特任助教の河内氏の講演では、大学教育における「アクティブラーニング」という新しい学習方法についての貴重なお話を聞くことができた。（「アクティブラーニング」の定義：「一方向的な知識伝達型講義を聴くという（受動的）学習を乗り越える意味での、あらゆる能動的な学習のこと。能動的な学習には、書く・話す・発表するなどの活動への関与と、そこで生じる認知プロセスの外化を伴う。」溝上慎一 2014）講演の他、個人ワークやグループワークを通して、各自の実践を振り返り、互いの実践から気付きを得ることができた。また、アクティブラーニングの学びを通して、学習方法や学習活動に焦点をあてて、社会教育における学びを捉え直し、学びをつくり出す視点を獲得することができた。「教師が～を教える」から「学習者が～できる」という教育の成果を重視する傾向、①コミュニケーション能力、創造力、課題発見能力など専門知識以外の幅広い能力と、②最先端の知識は常に更新され、必要な知識をどう調べ、学ぶかという「学び方を学ぶ」学習とが求められるという社会的変化を考えると、社会教育におけるアクティブラーニングの必要性について大いに学ぶべきものがあつた。

講演「北陸三県の現状・平成28年度新規事業について」では、福井・富山・石川三県の現状・新規事業について、それぞれの動向を知ることができた。自県の事業と比較して聞くことができ、各県の独自性や共通する部分から得るものが大きかつた。

「グループ別討議」では、①各市町の生涯学習・社会教育担当者のグループと②各市町の公民館職員のグループに分かれ、それぞれの現状と課題が発表・共有された。社会教育主事としての知識や技能が、各市町や公民館の事業・活動に活かされている例もあり、大いに刺激になつた。

講義「人が集まる！ライターの文書テクニック」と「魅力的なチラシはテンプレートを変えろ」では、チラシづくりについて「言葉」と「技術」の両面から具体的ですぐに役立つテクニックを教えていただき、非常に参考になつた。参加者からも好評であつた。

今年度の研修は、北陸三県の様々な年齢層の社会教育主事等が一堂に会し、日頃の課題や成果を交流し合い、研鑽を積み、親交を深める貴重な機会となつた。また、参加者同士のネットワークづくりにも役立っており、各県各市町の生涯学習・社会教育の発展に資するところも大きい。以上のことから、「社会教育専門職員としての実践的な力量を高める」という趣旨を達成することができたと考えられる。二会場を移動しての開催となっているが、1箇所で開催しやすい会場の選定が課題である。

(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県立生涯学習センター、奥能登社会教育振興会（奥能登会場）

対 象

市町生涯学習・社会教育担当者、公民館職員等

日 程

教 育 事 務 所	日 時	内 容 等	参加人数
中能登	11月12日(木) 13:30～15:30	会場：サンビーム日和ヶ丘 講義 「これからの地域づくりと公民館」 富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	45 人
金 沢	11月13日(金) 13:30～15:30	会場：金沢市教育プラザ富樫 講義 「地域づくりの拠点としての公民館の役割」 富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	40 人
小 松	11月19日(木) 13:30～15:30	会場：加賀市市民会館 講義 「魅力的なチラシはテンプレートを変えろ」 NPO法人百万石ワールドカフェ運営委員 迎 崇	23 人
奥能登	2月24日(水) 14:00～15:30	会場：石川県立生涯学習センター能登分室 講義室A・B 講義 「今後の公民館活動のあり方」 金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	53 人
合 計			161 人

事業の評価(成果・課題)

テーマについて、地区毎に要望を受け、実践的な内容の研修会を実施した。今後の公民館活動への最新の情報を講師から提供していただいた。また、チラシ作りの力量をアップするために実践的なご提案をいただいた。

次年度は、4地区統一テーマでの研修会を企画する方向で検討したい。

(5) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月11日(木) 15:00~16:30	ゲームで教育!?	金沢工業大学情報フロンティア学部 准教授 山岸 芳夫	26人

事業の評価(成果・課題)

昨今のエデュテインメント(楽しみながら学習する手法)、シリアスゲーム(教育・学習などを目的としたゲーム)、ゲーミフィケーション(ゲームの要素・考え方を、様々な課題の解決に活用する手法)などの、ゲームを教育に活用した事例やこれに関連する講師の取り組みから、視聴覚教育の新しい方向性を学ぶことができた。

技術のみではなく、その技術をいかに活用するかが実務担当者にとって重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していく必要がある。

(6) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般県民 ・1期 16名 ・2期 16名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	6月20日(土)・27日(土)・ 7月 4日(土)・18日(土) 13:30~16:00	ビデオ撮影・編集に関する講義、ビデオ編集実習	生涯学習センタービデオクラブ (SVC)会員	72人
2	9月19日(土)・26日(土)・ 10月 3日(土)・17日(土) 13:30~16:00	〃	〃	59人
合 計				131人

事業の評価(成果・課題)

今年度は受講層の拡大を図るため土曜の午後開催とし、内容も編集に絞って1期・2期同じ内容で実施した。結果、受講層を高校生まで広げることができた。今後も、幅広い年代の方が受講しやすくなるよう工夫し受講層を広げ、映像制作文化の発展に寄与したい。

(7)ICT活用講座

趣 旨

ICT等情報技術革命における教育メディア関連の課題について、その対応策・利用方法等を習得することを目指す。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

第1回： 公民館、図書館、各種団体職員等 9名

第2回： いしかわビデオ作品コンクール受賞者、一般県民 50名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	8月19日(水)・20日(木) 10:00～15:00	学び直してスキルアップ！Microsoft Word 2013 使いこなし講座	officeアシスタ 代表 山川 広美	11 人
2	3月 4日(金) 13:30～14:30	記念講演 「番組制作の現場から ～短いVTR作りのヒント～」	北陸放送(株)制作局 テレビ制作部 チーフディレクター 太田 武志	48 人

事業の評価(成果・課題)

第1回は、Officeソフトの活用講座を実施した。現在、多くの生涯学習施設で使われていると思われるマイクロソフトオフィスについて、そのワープロソフトであるWord2013を用い、インストラクターによる指導での「学び直し」行うことにより、自己流では習得の難しい正しく効率的な使用方法や有用な機能を学び、広報等の文書作成能力の向上を目指すことを目的とし、県内各地の公民館職員等を対象として講習会を行なった。

参加者からは、改めて基礎から学ぶことにより、自己流ではわからなかった使い方を知ることが出来た、などと好評であった。

今後はより多くの方に参加していただけるよう実施時期と期間の検討を行うとともに、学ぶ機会を提供し、実際の活動に取り入れられるよう基本的な技術と知識の習得を目指していきたい。

第2回は、平成27年度(第46回)いしかわビデオ作品コンクールの記念講演として実施した。コンクール受賞者のほかビデオ愛好家の方々が熱心に聴講された。講話は、実際の番組制作を題材とし、映像による比較を取り入れたわかりやすいもので、ビデオ作品制作に大変参考となるものであった。

(8) 平成27年度(第46回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主催/共催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

平成27年11月24日(火)～平成28年2月1日(月)

応募規定及び表彰

応募規定 ①教材部門 ・学校(幼稚園等を含む)や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
・学校紹介ビデオ

②一般部門 ・①以外のビデオ作品

表彰 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞の表彰を行う。

また、最優秀賞には各部門に石川県教育委員会賞を、優秀賞には各部門に振り分けて石川県社会教育協会賞もしくは石川県公民館連合会賞を、授与する。

審査及び表彰式

審査会 平成28年2月16日(火) 13:30～17:00

表彰式 平成28年3月4日(金) 15:00～16:30

審 査 員

棒田 邦夫 (金沢学院大学教授) <審査委員長> 岡野 重和 (生涯学習センタービデオクラブ幹事)

浅川理佳子 (県教育委員会生涯学習課) 近藤 繁彦 (石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

①教材部門・・・11点 ②一般部門・・・15点 計26点

審査結果及び表彰者氏名

①教材部門	②一般部門
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 諸江芹(せり)部会の記録 金沢市諸江公民館	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 涅槃会(ねはんえ)の行事 小倉 健治
優秀賞 及び 石川県社会教育協会賞 日本の花すすき 小林 恵子	優秀賞 及び 石川県公民館連合会賞 百万石の杜鵑花(さつき) 森本 重雄
奨励賞 地域ゆかりの偉人ブックレットに 金沢市城南公民館 加賀象嵌(ぞうがん) 石川県立工業高等学校放送部 紙芝居が伝える地元の魅力 石川県立金沢泉丘高等学校放送部	奨励賞 日本武尊像(やまとたけるのみこと) の三不思議 西上 章 瀧行(たきぎょう)の祈り 高島 良夫 県工展2016 石川県立工業高等学校放送部

事業の評価(成果・課題)

平成27年度は、募集開始時期を11月中に早め、また学校関係へ例年よりも積極的に働きかけたこともあり、教材部門の応募数が11点と、前年度の6点に比べ倍増となった。全応募点数も前年度に比べ5点増と2年連続の増となった。

今後も、より多くの県民からご応募いただけるよう、各学校・視聴覚教育研究団体への早期の働きかけなどにより、コンクールの実施・作品募集の周知を図ることや、募集開始時期のさらなる前倒し、「県民映像カレッジ」との連携などを検討したい。

(9) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第12号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月28日(月) 第12号	ゲームで教育!?	金沢工業大学情報フロンティア学部 准教授 山岸 芳夫

(10) 自主サークル

サークル名	活 動 内 容
生涯学習センタービデオクラブ (SVC)	毎月第2土曜日(13:30~16:30)月例会(作品鑑賞等)

Ⅱ 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) いしかわを知る講座

趣 旨

石川の歴史・文化・自然・産業等について、より深く学ぶことで郷土に対する理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月3日(水) 13:30～15:30	『神への祈り、つつしみ、感謝 ～七鹿の年中行事～』	七尾市文化財保護審議会会長 塚林 康治	23人
2	6月25日(木) 13:30～15:30	『芳春院まつと能登』	かほく市文化財保護審議委員 瀬戸 薫	34人
3	7月23日(木) 13:30～15:30	『再発見 奥能登の神社文化財』	石川県輪島漆芸美術館館長 四柳 嘉章	35人
4	9月1日(火) 13:30～15:30	『能登の森林・林業について』	奥能登農林総合事務所林業振興課長 藤田 功雄	11人
5	10月6日(火) 13:30～15:30	『紀行文にみる近世能登』	加能地域史研究会会員 袖吉 正樹	18人
6	10月29日(木) 13:30～15:30	『白山の自然と木の実を使った飾りづくり』	石川県白山自然保護センター専門研究員 平松 新一	17人
合 計				138人

事業の評価(成果・課題)

能登校の主要講座の一つであり、能登の歴史や民俗に関するものは人気があり受講生も多い。受講生のニーズに合った魅力ある内容や講師の選定、広報活動等に一層工夫したい。

(2) 能登文化講座

趣 旨

能登地域住民の多様な学習ニーズに応え、著名な講師による高い専門的講話と人生体験について学習の場を提供し、能登の人々に元気を与える。併せてのと里山空港の賑わい創出を図る。

対象・定員

一般 150名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月4日(土) 13:30～15:00	『ものまね芸に生きる』	演芸家 四代目 江戸家 猫八	230人

事業の評価(成果・課題)

講師の四代目江戸家猫八は、12年前の能登空港開港記念に江戸家子猫として登場以来2度目の来県であり、ものまね芸のさらなる研鑽や三代目の教えを自身のものにする過程などを熱く語り、受講生の心を打つものであった。この講座は地域の方々によく知られており、多くの受講生を集めているが、今後とも人気の高い講師の選定に努めたい。

(3) 古文書手習い塾

趣 旨

古文書への関心と親しみを深め、「古文書解読講座」の入門編として、古文書解読の基礎を学ぶ。

対象・定員

一般 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	8月27日(木) 13:30~15:30	七尾の相続関係史料を読む	生涯学習センター能登分室職員 南 龍保	23人
2	9月 3日(木) 13:30~15:30	往来手形と巡見使文書を読む	〃	28人
3	9月10日(木) 13:30~15:30	名舟と海士の漁場争論を読む	生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	28人
合 計				79人

事業の評価(成果・課題)

古文書解読の基礎を学んで古文書を読めるようになることを目指して「古文書手習い塾」として2年目となる。受講者は大変熱心で古文書解読愛好者の裾野を広げている。さらに、古文書をとおして地域の歴史を学ぶことにもつながっている。

(4) 古文書解読講座

趣 旨

地域史の調査や研究に必要な古文書の解読に関する知識と技能の習得を目指す。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	9月17日(木) 13:30~15:30	古文書の解読	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	25人
2	9月24日(木) 13:30~15:30	〃	門前郷土史研究会会長 大倉 克男	27人
3	10月 1日(木) 13:30~15:30	〃	〃	22人
4	10月 8日(木) 13:30~15:30	〃	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	25人
合 計				99人

事業の評価(成果・課題)

「古文書手習い塾」から引き続いて受講する方も多く、大変熱心に取り組んだ。講師が選定した地域の古文書を読み込み、講師との質疑等をとおして、地域の成り立ちや歴史・文化への理解を深めた。今後も継続して開催を希望する声が多い。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

成形・釉薬がけ・焼成などの作陶技術を習得し、陶芸作品づくりを楽しむ。

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月16日(火) 13:30~16:30	成形	珠洲焼作家 伏見窯 坂本 一郎	15人
2	6月17日(水) 13:30~16:30	〃	〃	15人
3	6月30日(火) 13:30~16:30	素焼	〃	14人
4	7月 7日(火) 13:30~16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	14人
5	7月14日(火) 13:30~16:30	鑑賞会	〃	15人
合 計				73人

事業の評価(成果・課題)

過去に受講している人が多いが、初めての方も数人加わり、真剣に集中して取り組んだ。創作意欲が高く、講師の丁寧な指導を受けて技術レベルが向上し優れた作品を仕上げた人が多かった。

(6) あすなる悠々塾in能登

趣 旨

「知の循環型社会」を構築する観点から、一般の方を対象に、生涯学習活動などをおして学んだ成果を講座の講師として講義する機会を提供し、社会に活かす。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月10日(水) 13:30~15:00	『人に好かれる自分づくり』	塚本 茂樹	13人
2	7月 9日(木) 13:30~15:00	『加賀藩の布生産の盛衰』	登美 聰	19人
3	8月 4日(火) 13:30~15:00	『石川の川の魚たち』	引戸 武	12人
4	9月15日(火) 13:30~15:00	『古代から室町期までの「能登国の物語」』	後藤 朗	17人
5	10月22日(木) 13:30~15:00	『トキ復活? トキ保護活動の実践から分かること』	西屋 馨	15人
6	11月12日(木) 13:30~15:00	『中居万年屋海運文書を読む』	左古 隆	30人
合 計				106人

事業の評価(成果・課題)

講座は生涯学習活動などの成果や独自の調査・研究をまとめたもの、日頃の活動の状況など多岐にわたる興味深い内容であった。能登地域の新たな講師の発掘に努めたい。

(7) 能登特別映画会

趣 旨

秀作映画の上映をとおして、我が国の美しい風土と精神を鑑賞する。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月16日(木) 13:30～15:30	人生いろどり	23人
2	9月9日(水) 13:30～15:30	そして父になる	17人
3	10月14日(水) 13:30～15:30	ミラーを拭く男	18人
4	11月11日(水) 13:30～15:30	父と暮らせば	14人
合 計			72人

事業の評価(成果・課題)

今年度の4本の映画は比較的新しいものを上映した。過疎・高齢化の問題、新生児取り違え、交通事故、広島原爆を題材にした内容の濃いものであり、シニア世代には絶好の映画鑑賞の機会になっている。今後も秀作を選んで上映したい。

(8) ふるさと文化探究講座

趣 旨

DVD映像をとおして、ふるさと石川の歴史や文化等について学習し、関連講座により郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月5日(金) 13:30～15:30	①前大峰～漆芸に新天地～ ②小田吉之丈～郷土を著す～ ③金沢城天守閣の謎 ④関連講座「前田利家と小丸山城」	24人
2	6月18日(木) 13:30～15:30	①前田綱紀～尊経閣文庫 産業の振興 困窮救済～ ②黒川良安～近代医学の祖～ ③小野太三郎～福祉の祖～ ④七尾和ろうそく～ハゼの実 燭台～ ⑤関連講座「灯りの歴史・ろうそく」	11人
3	7月30日(木) 13:30～15:30	①知られざる金沢城～金沢御坊 魔界の入口 黒壁山～ ②島田清次郎～波乱万丈の軌跡～ ③高多久兵衛～耕地整理の父～ ④銭屋五兵衛～密貿易? 投毒? 真実の姿～	13人
4	10月2日(金) 13:30～15:30	①折口信夫～国文学 民俗学 詩人～ ②広海二三郎～勇躍～ ③藻寄行蔵～製塩業にかける～ ④石動山遺跡めぐり～中能登町～	11人
5	10月20日(火) 13:30～15:30	①奥能登外浦の岩ノリ漁 ②関口開～近代数学の父～ ③横山隆興～北陸の鉱山王～ ④石田三成が託した木像～奥能登～	9人
6	10月27日(火) 13:30～15:30	①七尾語学所～世界に向けられた視野～ ②岡部直造～加賀藩と十村～ ③清水誠～日本マッチ工業の父～ ④峨山道巡行	8人
7	11月5日(木) 13:30～15:30	①島山一清～ポンプに賭ける夢～ ②中谷宇吉郎～冬の華～ ③アーネスト・サトウ～英国外交官の見た能登・加賀～ ④関連講座「外国奉行と能登」	8人
合 計			84人

事業の評価(成果・課題)

地域に関係する人物、歴史、文化などのDVDを視聴した。登場人物に関する解説資料を毎回配付し、第1回、2回、7回には分室職員による解説講座も実施した。多くの方に地域についてより良く知ってもらうためにも受講生の増加を期したい。

(9) 夏休み子ども特別映画会

趣 旨

子ども向け名作アニメの上映をとおして、子どもたちの豊かな情操を育む。

対象・定員

子ども・保護者 40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月19日(日) 13:30~15:30	ドラえもん のび太とアニマル惑星	60人
2	7月25日(土) 13:30~15:30	ドラえもん のび太とブリキの迷宮	51人
3	8月2日(日) 13:30~15:30	ドラえもん のび太と夢幻三剣士	42人
合 計			153人

事業の評価(成果・課題)

昨年度に比べ1回増の3回実施したが、定員を上回る申込み・参加があった。子どもたちは馴染み深いアニメ映画を楽しみ、親子のふれあいにもなった。開催日を土日にしたことで参加しやすかった面がある。今後も魅力ある作品を提供したい。

(10) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を造り、色を付けて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験をとおして、ものづくりの喜びを実感し豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月18日(土) 13:30~16:30	成形・素焼き	石川県立飯田高等学校教諭 井上 正浩	23人
2	8月8日(土) 13:30~16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	22人
3	8月25日(火) 13:30~16:30	鑑賞会	〃	23人
合 計				68人

事業の評価(成果・課題)

ほとんどが保護者との参加なので、親子での創作活動となり、和やかに進行した。講師は子どもたちの創作意欲を上手に引き出し、保護者の求めにも丁寧に対応していた。子どもたちからは「いろいろな作品を作れて楽しかった」という感想が多かった。

(11) 夏休み子ども科学教室

趣 旨

身近な科学の実験・工作を行う中で、隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

対象・定員

4年生以上の小学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	8月6日(木) 13:30~15:30	本物そっくり！アンモナイトのレプリカづくり	生涯学習センター能登分室職員 坂尻 忠秀	17人
2	8月20日(木) 13:30~15:30	葉拓、葉脈標本づくりを楽しもう！	〃	8人
合 計				25人

事業の評価(成果・課題)

化石のレプリカづくりや葉脈標本づくりは初めてという小学生がほとんどで、楽しく面白かったという感想が多かった。こういう機会の少ない奥能登の子どもたちのためにぜひ継続したい講座である。平日の開催では、保護者の送迎が難しいことが受講者数に表れており、今後検討したい。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) 大人の料理教室

趣 旨

実りの秋、旬の食材を生かした手軽な料理づくりを楽しみながら、豊かな食生活を送るため、地元の食文化や健康食について学ぶ。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 12名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理実習室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月26日(土) 10:00~13:00	旬の食材を使ったご馳走&スイーツ づくり	地域活動栄養士 沖崎 美子	11人

事業の評価(成果・課題)

秋ナス、きのこ、カボチャなど旬を迎えた秋の食材を用いて、「いしる」を調味料に使うなどして様々な料理を楽しい雰囲気調理して試食した。講師から食材の特長や調理法、味付けの工夫についても教えてもらい、栄養面や健康面で大いに参考になった。

(2) 男の料理教室

趣 旨

男性が一人でも自宅で実際に簡単にできる一品料理の作り方を学ぶ。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般男性 12名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理実習室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	5月21日(木) 10:00~13:00	常備菜をアレンジ ~手早く出来るおかず あと一品!!~	中浦 数枝	12人

事業の評価(成果・課題)

昨年に続いて実施した講座である。定員を12名に減らしたことで、料理への習熟に違いのある受講生に対する講師の説明や演示に余裕が生まれスムーズな進行であった。受講生からは「自宅で簡単にできる」と好評であった。

(3) サンドブラスト体験教室

趣 旨

のと里山空港マスコットキャラクター「スカイのっぴー」の月毎に替わる季節の図柄をガラスコップに彫刻し、物作りの喜びを体験する。併せて空港に親しむ。

主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般 各50名

会 場

のと里山空港 能登の旅情報センター前

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	4月12日(日)	お花見のっぴー	150人
2	5月10日(日)	のっぴーと鯉のぼり	116人
3	6月14日(日)	のっぴーと雨宿り	100人
4	7月12日(日)	のっぴーと天の川	120人
5	8月 9日(日)	のっぴーと海水浴	150人
6	9月13日(日)	お月見のっぴー	160人
7	10月11日(日)	のっぴー空の運動会	330人
8	11月 8日(日)	のっぴーモミジ狩り	80人
9	12月13日(日)	のっぴーサンタ	80人
10	12月23日(水)	12ヶ月自由図柄	400人
11	1月10日(日)	のっぴーのお正月	100人
12	2月14日(日)	のっぴーと雪だるま	120人
13	3月13日(日)	のっぴーのひな祭り	76人
合 計			1,982人

※実施日、毎月第2日曜日、12/23 クリスマスイベント開催日。
時間帯は午前10時～12時 午後1時～3時

事業の評価(成果・課題)

今年度は「のっぴー」の各月のデザインが新しくなり、大変な人気で毎回定員を超える参加があり、家族揃っての参加も多かった。旅行者の参加もみられ、のと里山空港の賑わい創出と活性化に寄与する重要な行事になっている。

3 能登分室利用状況

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数		25	36	57	58	81	76	64	75	79	67	43	49	40	725
		26	29	51	53	75	75	54	62	55	34	40	44	40	612
		27	35	62	49	84	76	65	82	67	39	46	52	37	694
人数		25	1,014	1,521	1,217	2,312	2,295	1,566	2,702	2,252	2,773	804	1,188	1,057	20,701
		26	752	1,566	1,452	2,207	2,093	1,338	2,115	1,366	2,238	735	1,103	1,043	18,008
		27	848	1,704	1,106	2,008	1,883	1,353	3,372	1,697	2,439	876	1,424	827	19,537
1日平均	件数	25	1.2	1.8	1.9	2.6	2.5	2.1	2.4	2.6	2.4	1.5	1.8	1.3	2.0
		26	1.0	1.6	1.8	2.4	2.4	1.8	2.0	1.8	1.2	1.4	1.6	1.3	1.7
		27	1.2	2.0	1.6	2.7	2.5	2.2	2.6	2.2	1.4	1.6	1.8	1.2	1.9
	人数	25	33.8	49.1	40.6	74.6	74.0	52.2	87.2	75.1	99.0	28.7	42.4	34.1	57.7
		26	25.1	50.5	48.4	71.2	67.5	44.6	68.2	45.5	79.9	26.3	39.4	33.6	50.2
		27	28.3	55.0	36.9	64.8	60.7	45.1	108.8	56.6	87.1	31.3	49.1	26.7	54.3

- ・ 平成15年5月6日開設。
- ・ 平成27年度の利用状況(開館日数360日)
 - ・ 利用件数 694件 対前年比 13.4% (平成26年度 612件)
 - ・ 利用人数 19,537人 対前年比 8.5% (平成26年度 18,008人)

Ⅲ 調査研究レポート

「社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査」について

1 はじめに

当センターは、金沢大学社会教育研究振興会及び同大学地域連携推進センターとともに、社会教育・生涯学習のよりよい推進を図るため、調査研究事業を実施している。金沢大学で実施している社会教育主事講習について、社会教育・生涯学習の核となるべき社会教育主事有資格者の意識や活動実態について調査研究を進めることとし、平成29年度中の報告書発刊を計画している。

2 概要

(1) テーマ

社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査

(2) 目的

社会教育主事講習での研修内容としての社会教育・生涯学習に係る理論、成人学習者の特性、学習プログラム等の企画立案、地域づくり・まちづくりに関する学習、様々な現代的な課題に関する学習などが、その後の職務等にどのように活かされたのかを把握することを目的とする。また、社会教育主事養成における社会教育主事講習の在り方についての意識を把握し、今後の社会教育主事講習の改革・改善に資することを目的とする。

(3) 調査対象

文部科学省（旧文部省）の委託をうけて金沢大学が実施している「金沢大学社会教育主事講習」を昭和59年度以降に受講し、社会教育主事又は公民館等の社会教育施設等で社会教育・生涯学習振興等の事業に従事している者、もしくは従事した経験を有する者。

(4) 調査方法と研究計画

「金沢大学社会教育主事講習」を受講した社会教育主事資格取得者一覧表から職員の勤務地等を調査し、郵送等によるアンケート調査を実施する。（平成27～28年度）

上記の調査の対象者の中から、協力いただける方に、ケーススタディ（事例研究）を実施する。（平成28～29年度）

(5) 調査期間

調査期間を平成27～29年度の3年間とする。

3 おわりに

近年、社会教育主事は、各地域の社会教育・生涯学習のコーディネーター、地域コミュニティーの核、学校・家庭・地域の連携協力のパイプ役の3つの役割についてその重要性が一層増している。「社会教育主事講習」を受けた社会教育主事有資格者が、その講習の成果を、学校や地域・行政機関など様々な場所でどのように活かしていったか、その意識や活動実態を把握し、今後の社会教育主事講習の改革・改善のための一助となるよう計画を進めていきたい。また、将来、社会教育・生涯学習の世界で一層活躍することのできる人材、地域における教育活動全般を総合的に推進することのできる人材を育成していける社会教育主事講習の在り方、社会教育主事の新たな役割等について提言していきたい。

平成 2 7 年度
事業報告書

平成 2 8 年 5 月 2 3 日 発行
編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用